

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略
(令和元(2019)年度改訂版)
検証結果報告書

【令和2年度事業】

令和4年3月
上牧町

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和元（2019）年度改訂版）事業

基本目標	基本的方向	施策	取組内容
①若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	①地域による教育・子育て環境の充実	①子どもの学力向上支援	1. ICT を活用した教育支援 2. 学習支援教室（まきっ子塾）の開催
		②子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト	3. 学校を中心としたコミュニティ網の形成 4. 学校支援事業の運営 5. 人権教育の推進 6. 子どもの読書活動の推進
		③地域ぐるみの子育て支援	7. 情報交換拠点の整備 8. 地域における保育環境の改善事業
		④就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実	9. 英語教育の充実 10. 体育教育の充実 11. 乳幼児教室の充実
		⑤多様な学びの場における支援	12. 通級指導教室（ベガサス教室）の充実 13. ほほ笑み教室の開催
		⑥青少年の健全な育成	14. 様々な専門講座の開催 15. スポーツ教室や野外活動教室の開催 16. キャリア教育の実施
	②結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	①結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援	17. 出会い・結婚応援事業の実施 18. プレパママ教室の開催 19. 不妊・不育症治療助成制度の利用促進
		②子育ての希望を叶えるための支援	20. 乳児・幼児健診受診の促進 21. 子育て世代への訪問型個別支援の拡充 22. 子育て支援セミナーの開催

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和元（2019）年度改訂版）事業

基本目標	基本的方向	施策	取組内容
②上牧町への新しい人の流れをつくる	①既存ストックの利活用促進	①空き家活用プロジェクト	23. 空き家利活用の推進
		②UR 住宅の活用による移住・定住促進	24. UR 住宅の活用及び入居促進
	②若年層の UIJ ターン促進と関心・認知度の向上	①公共交通の利便性向上	25. 上牧町交通網対策検討会の開催 26. コミュニティバスの利用促進
		②関係人口・交流人口の創出	27. 観光プログラムの企画・周知・運営 28. イベント等におけるふるさと帰郷・移住促進 PR 活動の実施 29. 大学や企業との連携によるブランディングの推進 30. 移住支援金事業
③地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	①地域資源を活用した魅力創出	①公共施設の相互利用	31. 公共施設広域連携検討会の開催
		②地域資源の整備	32. 史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進 33. 滝川を活用したにぎわい創出事業
	②地域住民との協働によるまちづくりの推進	①地域活動の支援・促進	34. 町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進 35. 地域活動団体の設立及び活動支援 36. 上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業
		②防災・防犯活動の支援・促進	37. 防災訓練の実施支援及び近隣自治体との広域連携 38. 子ども防災意識の向上及び防災物資の備蓄 39. 防犯活動の支援
④誰もが働きやすい環境をつくる	①子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援	①ネットワークを活用した就職支援	40. ハローワーク等と連携した就職支援
		②子育てしながら安心して働ける環境の整備	41. 子育てと就労の両立の支援 42. 病児病後児保育機能の強化と保護者負担の軽減 43. 子育てママ就業支援事業

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	教育総務課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	48ページ
担当係	総務係（教育総務）	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	① 子どもの学力向上支援		
	取組内容	1	① ICTを活用した教育支援	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
実施内容	説明 （⑤その他の場合）	ICTの急速な発展とグローバル化が進む社会において、子どもから高齢者まで情報活用能力を身につけることが求められており、また、ICTを授業に活用することで、教育の質の向上も期待できます。そのことに対応して、奈良県立教育研究所が主催するICT研修は増加傾向にあり、また企業等による研修も開催されています。町教育委員会としては、現在各校に設置しているICT機器を活用しながら実践的な授業を実施できるよう、より学校現場のニーズに合った研修を計画していきます。		
	【研修内容】 ICT機器を活用した授業づくりに関する研修			
独自の指標	指標①	ICT機器を活用した授業づくりに関する研修	目標（値）	1回
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	委託料	0	26,719	1,809	
	使用料及び賃借料	1,656	2,083	2,084	
	備品購入費	0	72,164	0	
合計	1,656	100,966	3,893	3年間累計	106,515
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した			
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
学力・学習状況調査のICTに関する質問の回答	%	—	—	【小学6年】 85.9% （県85.8%） 【中学3年】 77% （県76.5%）	肯定的回答値が 県平均以上 学力・学習状況調査 中止のため実績値が 把握不可	肯定的回答値が 県平均以上

1. ICTを活用した教育支援

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	ICT機器を活用した授業づくりに関する研修		実績（値） 2回
	独自の指標②			実績（値）
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
<p>上牧町 授業研究プロジェクト「パソコンを使ったICT教育の研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講師 株式会社大崎コンピュータエンジニアリング ●日時 令和2年8月6日（木） 参加者 教員34名（各学校代表者） <p>「Google for Education」～「G Suite」の基本的な活用ガイド～</p> <p>上牧町 Google G Suite 研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講師 株式会社大崎コンピュータエンジニアリング ●日時 令和3年3月23日（火） 参加者 教員67名（各学校代表者） <p>「G Suite 教職員向け基礎研修（授業編）」</p> <p>臨時休校中の学習保障としまして、北葛城郡4町（上牧町、王寺町、広陵町、河合町）で協同してインターネットを活用したオンライン授業を配信しました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>この事業の目的は、「勉強が好き・よくわかる子どもを増やす」ことであり、その手立てとして、教員がICT機器を効果的に活用して分かりやすい授業を実施することが挙げられます。そのためには、教員自身のICT機器に関するスキルを向上させることが重要であります。また、教員のICT機器に関するスキルは個人差があるため、全体の底上げはこれからの展開が重要です。成果を早急に求めることは難しいですが、ICT教育の一層の充実が求められるので、今後も引き続き取組が必要であると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ICT教育の充実に向けて、教職員の指導力向上を目指した研修会を引き続き実施していく必要があります。また、ICTを活用した、「わかる授業」の実践や、児童生徒の「情報活用能力」の育成、学習意欲の向上を促し、学力向上につながる授業の実施を検討していきます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見通し	
取組状況								
見通し								
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 情報端末機の活用を促進するために、ICT支援員の派遣による教育の情報化コーディネートを行うなど、さらなる教育ICT環境及び体制の整備を進めていきます。						
2021年度（R03） 実施予定		<p>令和3年度の児童生徒一人一台端末機の利用開始に向けて、授業ですぐに使えること、準備が容易であること等、より実践的で教職員のニーズに合った研修会を考慮して、内容・回数を精査しながら、不登校児童生徒の対策として、インターネットを活用したオンライン授業の可能性について、さらに検討を進めます。</p> <p>また、令和2年度に整備した端末機を6月中に配布するとともに、ICT機器の活用に関する導入支援を行うGIGAスクールサポーターを配置し、各小中学校の教職員及び児童生徒に対するサポートを検討します。</p>						
指標（予定）	KPI	学力・学習状況調査のICTに関する質問の回答		肯定的回答値が県平均以上				
	独自	ICT機器を活用した授業づくりに関する研修		1回				
	—							
	—							

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	48ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	① 子どもの学力向上支援		
	取組内容	2	② 学習支援教室（まきっ子塾）の開催	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
実施内容	説明 (⑤その他の場合)			
	学習習慣や生活習慣を身につけるとても大切な時期でもある小学1年生から3年生を対象に、児童の基礎学力の向上や家庭学習の定着を目的として、水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の空き教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行っています。			
独自の指標	指標①	親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合	目標（値）	97%
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
学校支援向上事業「まきっ子塾」	4,965	2,008	6,653		
事業費					
合計	4,965	2,008	6,653	3年間累計	13,626

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった			
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	令和2年度の「まきっ子塾」は新型コロナウイルス感染症の影響により、一学期は中止、二学期は9月30日から11月11日までの7回で終了、三学期は中止となりました。例年年度末に行っている、保護者と児童に対するアンケート調査は、開催回数が7回と減少したため行いませんでした。保護者や学習アドバイザーへの連絡（「まきっ子塾」の再開、中止、これからの予定等）は、適宜丁寧に行いました。			

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 (H27) 【基準値】	2018年度 (H30) 【基準値】	2019年度 (R01)	2020年度 (R02)	2021年度 (R03) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
小学1年生から3年生のまきっ子塾に参加している児童の割合	%	—	31.1	36.2	40 37.2	40

2. 学習支援教室（まきっ子塾）の開催

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																					
	独自の指標①	親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合	実績（値） —																																																																				
	独自の指標②		実績（値）																																																																				
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																						
児童参加人数の実績は、上牧小学校49名・上牧第二小学校49名・上牧第三小学校63名 合計161名です。令和2年度も関係課と連携して学童保育利用者に声かけを行い、参加人数を4名増やすことができました。 まきっ子塾は児童の安全を最優先に考えており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として感染防止マニュアルを作成しました。マスクとフェイスシールドの着用、机にはアクリル板を設置、消毒や検温を徹底し、例年通りのグループ学習ではなく個別指導の形式で行うことで、3密を避けた指導を行いました。また、事務局の人数も各学年に1人を配置する体制で安全管理を徹底しました。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で回数が7回と減少したため、年度末に保護者と児童に対して、アンケート調査は行いませんでした。今年度から新しく取り組んでいる、児童のお迎え時に保護者へ児童の学習の様子や体調を伝えることで、保護者に安心してもらえました。「『まきっ子塾』で勉強してくれるので助かります」「『まきっ子塾』が楽しいと言っていました」等の声を多数いただきました。																																																																							
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																							
（各年度5月1日時点）																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">上小</th> <th colspan="2">二小</th> <th colspan="2">三小</th> <th colspan="2">合計</th> <th rowspan="2">うち、学童保育 利用人数</th> </tr> <tr> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>65</td> <td>33.7%</td> <td>46</td> <td>27.9%</td> <td>76</td> <td>49.7%</td> <td>187</td> <td>36.6%</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>53</td> <td>31.4%</td> <td>52</td> <td>33.5%</td> <td>61</td> <td>43.3%</td> <td>166</td> <td>35.7%</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>37</td> <td>22.8%</td> <td>48</td> <td>34.8%</td> <td>51</td> <td>37.0%</td> <td>136</td> <td>31.1%</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>43</td> <td>27.4%</td> <td>62</td> <td>45.9%</td> <td>51</td> <td>36.7%</td> <td>156</td> <td>36.2%</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>49</td> <td>36.6%</td> <td>49</td> <td>31.2%</td> <td>63</td> <td>44.4%</td> <td>161</td> <td>37.2%</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table>					上小		二小		三小		合計		うち、学童保育 利用人数	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	平成28年度	65	33.7%	46	27.9%	76	49.7%	187	36.6%	87	平成29年度	53	31.4%	52	33.5%	61	43.3%	166	35.7%	76	平成30年度	37	22.8%	48	34.8%	51	37.0%	136	31.1%	55	令和元年度	43	27.4%	62	45.9%	51	36.7%	156	36.2%	65	令和2年度	49	36.6%	49	31.2%	63	44.4%	161	37.2%	76
	上小		二小		三小		合計		うち、学童保育 利用人数																																																														
	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合																																																															
平成28年度	65	33.7%	46	27.9%	76	49.7%	187	36.6%	87																																																														
平成29年度	53	31.4%	52	33.5%	61	43.3%	166	35.7%	76																																																														
平成30年度	37	22.8%	48	34.8%	51	37.0%	136	31.1%	55																																																														
令和元年度	43	27.4%	62	45.9%	51	36.7%	156	36.2%	65																																																														
令和2年度	49	36.6%	49	31.2%	63	44.4%	161	37.2%	76																																																														
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																					
	評価の根拠及び理由 保護者の意見として、「もっと回数を増やしてほしい」、「もっと時間を増やしてほしい」、「4～6年生もしてほしい」、「お迎えなしにしてほしい」等、事業内容に関して、回数や対象学年の拡大等の要望が引き続きありますが、これからも対象学年については、学習習慣や生活習慣を身につけるとても大切な時期でもある小学1年生から3年生までの枠組みで運営していく方向です。																																																																						
事業の見直し余地 （改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																																					
	評価の根拠及び理由 一人でも多くの児童に参加してもらうため、町及び各学校HPでの周知の徹底、学童保育の子ども達への呼びかけ、政策自慢で発表したプレゼンテーションを利用した保護者へのアプローチ、大学連携等、さらなる工夫が必要であると考えます。																																																																						

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="background-color: #d9ead3;">取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9ead3;">見通し</td> <td></td> </tr> </table>		取組状況		見通し	
取組状況							
見通し							
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）					
	改善内容 （改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「まきっ子塾」は、平成28年9月から始まり、今後も、児童の基礎学力の向上や家庭学習の定着を目的に取り組んでいきます。放課後に「まきっ子塾」で楽しく学習することによって、少しずつではありますが、勉強が好きになり、学力の向上については、長い目で見ていく必要があると考えます。引き続きスムーズに運営できるよう課題解決を図りながら取り組んでいく方針です。また、一人でも多くの児童に参加してもらうため、町及び各学校HPでの周知の徹底、学童保育の子ども達への呼びかけ、政策自慢で発表したプレゼンテーションを利用した保護者へのアプローチ、大学連携等、さらなる工夫が必要であると考えます。					
2021年度（R03） 実施予定		学習習慣や生活習慣を身につけるとても大切な時期でもある小学1年生から3年生を対象に、児童の基礎学力の向上や家庭学習の定着を目的に、水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の空き教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行っていきます。保護者のお迎えについても、ここ数年の多発する交通事故や不審者問題への対応として、従来通り保護者にお迎えに来てもらう形で進めていきます。また、開塾にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大の状況を見ながら、令和2年度に作成した新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを遵守し、マスクの着用、机にアクリル板を設置、消毒や検温、換気を徹底し、1学期から開催できるように進めていきます。 各小学校への入学児童数は、年々減少傾向にあります。まきっ子塾への児童の参加割合と内容の充実につましましては、児童数の増減に関わらず着実に進めていきます。その他、一人でも多くの児童に参加してもらうために、広報、ホームページ等掲載、募集チラシの工夫、学童保育利用者への声かけ等、関係課との連携を図ります。					
指標 （予定）		KPI	小学1年生から3年生のまきっ子塾に参加している児童の割合	40%			
		独自	親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合	97%			
		—					

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	49ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局	教育総務課		

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト		
	取組内容	3	① 学校を中心としたコミュニティ網の形成	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	④未実施		
	2020年度（R02）実施予定	②実施する（開始）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	コミュニティ・スクールの導入に向けて、学校地域協働活動である上牧町学校・地域パートナーシップ事業を基盤に、教育委員会事務局全体で推進する方向で進めていく予定です。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度		2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費						
合計		0	0	0	3年間累計	0
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）					

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議の年間開催数	回	—	—	—	5 4	5

3. 学校を中心としたコミュニティ網の形成

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>コミュニティ・スクール導入に向けての検討会議は4回実施しました。 全ての会議に、県教育委員会事務局の方にお越しいただきました。また、コミュニティ・スクールについては、各学校の運営方針等を検討する場となりますので、学校教育担当課である教育総務課と規則や実施要領の制定に向けて連携する必要があります。</p> <p>【会議内容】 (第1回) 進捗状況 (第2回) コミュニティ・スクールとパートナーシップ事業の関係性について・奈良市での導入事例 (第3回) 上牧町でのより良い導入方法について (第4回) 設置研修会</p>			
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>コミュニティ・スクールについては、令和元年度県内市町村の学校の設置率は約42%となっています。平成29年4月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6では学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置が努力義務と法改正が行われており、近い将来コミュニティ・スクールの設置が義務化になると言われています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>上牧町では令和2年度から学校適正化協議会を設置し検討・協議を行っていますので、それに合わせてコミュニティ・スクールの導入時期等を検討していく必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見直し	
取組状況								
見直し								
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） コミュニティ・スクールについては各学校の運営方針等を検討する場となりますので、学校教育担当課である教育総務課と規則や実施要領の制定に向けて会議等を重ねて連携する必要があります。						
2021年度（R03） 実施予定		コミュニティ・スクールにおいては令和3年度は学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議を年5回程度実施するとともに、県教育委員会事務局に協力を得ながら、規則や実施要領の制定を目指していく予定です。						
指標（予定）	KPI	学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議の年間開催数	5回					
	—							
	—							
	—							

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	49ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト		
	取組内容	4	② 学校支援事業の運営	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>上牧町学校・地域パートナーシップ事業は、町内の小学校3校、中学校2校及び幼稚園において、学校支援ボランティアが図書支援・学習支援（授業の補助）・環境支援等を行う活動で、各学校園の地域コーディネーターが、ボランティアの配置・調整を行い、学校との連携を図っています。また、前年度に引き続き、将来的なコミュニティ・スクールの構築に向けた事業の推進を図ります。</p> <p>この事業の運営方法等を検討する学校地域パートナーシップ事業運営委員会を設置し、年に2回会議を開き、事業計画の策定、安全管理方策、広報活動方策、ボランティア等の地域の協力者の人材確保等の検討、活動プログラムの企画、事業の検証・評価等を行っています。さらに、子どもの学力向上も含め、地域で子どもを育てる取組についても意見交換を行います。</p> <p>委員会メンバー・・・各種団体の長、各学校園長、各PTA会長、地域コーディネーター、事務局職員</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度		2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	上牧町学校・地域パートナーシップ事業	1,433	1,124	1,852		
合計		1,433	1,124	1,852	3年間累計	4,409
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）					

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
学校支援ボランティア年間登録者数	人	180	214	222	230 238	220

4. 学校支援事業の運営

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																																																																			
	独自の指標①	実績（値）																																																																																																																					
	独自の指標②	実績（値）																																																																																																																					
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>主な活動として図書支援・環境支援・登下校見守り支援・授業支援等を行っています。新型コロナウイルスの影響で全体的に実施日数が減り、活動内容も制限されましたが、授業支援に関して、児童が困っている時にボランティアの方がすぐに支援してくれるため、担任の目がより一人ひとりの児童に届くようになったとの意見もあり、学校教育の充実を図ることができたと考えます。 新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティア活動が減りましたが、マスク製作等参集しなくてもできる活動を行ったり工夫して実施することができました。</p> <p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>令和2年度 ボランティア登録者数 ※1名で複数校（園）に登録しているボランティアがいます。</p> <table border="1"> <tr> <td>上牧小学校</td> <td>上牧第二小学校</td> <td>上牧第三小学校</td> <td>上牧中学校</td> <td>上牧第二中学校</td> <td>上牧幼稚園</td> </tr> <tr> <td>92名</td> <td>85名</td> <td>48名</td> <td>29名</td> <td>36名</td> <td>17名</td> </tr> </table> <p>令和2年度 地域コーディネーターの活動時間</p> <table border="1"> <tr> <td>上牧小学校</td> <td>上牧第二小学校</td> <td>上牧第三小学校</td> <td>上牧中学校</td> <td>上牧第二中学校</td> <td>上牧幼稚園</td> </tr> <tr> <td>77時間</td> <td>22時間</td> <td>43時間</td> <td>40時間</td> <td>15時間</td> <td>13時間</td> </tr> </table> <p>※各学校・園のボランティア活動の内容により地域コーディネーターの活動時間が異なります。</p> <p>令和2年度 ボランティア活動実績（のべ数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">図書支援</th> <th colspan="2">学習支援</th> <th colspan="2">環境支援</th> <th colspan="2">登下校見守り支援</th> <th colspan="2">放課後学習支援</th> <th colspan="2">学校行事の運営支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧小学校</td> <td>10日</td> <td>25名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1日</td> <td>5名</td> <td>195日</td> <td>3,200名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧第二小学校</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>122日</td> <td>183名</td> <td>198日</td> <td>1,386名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧第三小学校</td> <td>9日</td> <td>34名</td> <td>41日</td> <td>90名</td> <td>10日</td> <td>32名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1日</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>上牧中学校</td> <td>82日</td> <td>155名</td> <td>9日</td> <td>17名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>19日</td> <td>23名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧第二中学校</td> <td>18日</td> <td>73名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>51日</td> <td>218名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧幼稚園</td> <td>11日</td> <td>33名</td> <td>14日</td> <td>57名</td> <td>5日</td> <td>5名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※登下校見守り支援（小学校）についてはほぼ町内全域で行っていますが、自治会として活動しており、学校支援ボランティアとして登録されていない地区もあります。</p>					上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園	92名	85名	48名	29名	36名	17名	上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園	77時間	22時間	43時間	40時間	15時間	13時間		図書支援		学習支援		環境支援		登下校見守り支援		放課後学習支援		学校行事の運営支援		上牧小学校	10日	25名	-	-	1日	5名	195日	3,200名	-	-	-	-	上牧第二小学校	-	-	-	-	122日	183名	198日	1,386名	-	-	-	-	上牧第三小学校	9日	34名	41日	90名	10日	32名	-	-	-	-	1日	6名	上牧中学校	82日	155名	9日	17名	-	-	-	-	19日	23名	-	-	上牧第二中学校	18日	73名	-	-	51日	218名	-	-	-	-	-	-	上牧幼稚園	11日	33名	14日	57名	5日	5名	-	-	-	-	-
上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園																																																																																																																		
92名	85名	48名	29名	36名	17名																																																																																																																		
上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園																																																																																																																		
77時間	22時間	43時間	40時間	15時間	13時間																																																																																																																		
	図書支援		学習支援		環境支援		登下校見守り支援		放課後学習支援		学校行事の運営支援																																																																																																												
上牧小学校	10日	25名	-	-	1日	5名	195日	3,200名	-	-	-	-																																																																																																											
上牧第二小学校	-	-	-	-	122日	183名	198日	1,386名	-	-	-	-																																																																																																											
上牧第三小学校	9日	34名	41日	90名	10日	32名	-	-	-	-	1日	6名																																																																																																											
上牧中学校	82日	155名	9日	17名	-	-	-	-	19日	23名	-	-																																																																																																											
上牧第二中学校	18日	73名	-	-	51日	218名	-	-	-	-	-	-																																																																																																											
上牧幼稚園	11日	33名	14日	57名	5日	5名	-	-	-	-	-	-																																																																																																											
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																																																																			
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>令和2年度も地域のボランティアから意欲的により良い学校づくりのために様々な活動を行いたいと要望がありました。地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図るためには、ボランティアの存在が必要不可欠であり、地域の方々と良好な関係を保ち、子どもたちの健全育成に情熱を持って活動していただいていますので、ますます重要な人材となると考えます。</p>																																																																																																																						
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																																																																																			
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>学校の要望のバランスがうまくとれるようなボランティアの配置が必要であり、併せて欠員補充のためにボランティアへの働きかけも必要であると考えます。また、ボランティアの高齢化が進み、若い世代が少ない現状で、自治会が独自で登下校見守り支援を行っている場合があり、その他の支援についても協力してもらえよう働きかけをしていくことで人材確保につながっていくと考えます。</p>																																																																																																																						

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見直し	
取組状況						
見直し						
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）				
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） ボランティアの調整や学校との連携を図る地域コーディネーターとの会議等を通して問題解決に取り組み、お互いに連携をとりたいと考えます。また、ボランティアの募集チラシに関して、カラーで活動写真を載せていますが、その他、ボランティアを必要としている活動をわかりやすく表示するなど、インパクトのあるチラシを作成したいと考えています。				
2021年度（R03） 実施予定		前年度に引き続きボランティアの方による図書支援・環境支援・登下校見守り支援・授業支援等を行う予定です。また、ボランティアの方々に趣味等を生かして学校の教育活動に協力していただくことで、地域の教育力の向上と地域ぐるみでの学校教育の充実・活性化を図ることを目的に地域コーディネーターとの会議を実施し、連携を図ります。				
指標（予定）	KPI	学校支援ボランティア年間登録者数	230人			
		-				

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	49ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト		
	取組内容	5	③ 人権教育の推進	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	行政、幼稚園・小中学校・地域が連携し、人権学習の継続と発展を推進するために、ヒューマンライツセミナーを実施します。また、指導者研修会の実施にあたり、各関係機関の代表を中心に参加を呼びかけ、実践力を高める研修会を実施します。			
独自の指標	指標①	指導者研修会 参加者数	目標（値）	100人
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度		2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	人権教育推進事業	1,134	841	1,244		
合計		1,134	841	1,244	3年間累計	3,219
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	④計画を変更して実施した				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	新型コロナウイルス感染症の影響で、ヒューマンライツセミナーin上牧は人数制限を設け、実践報告会形式としました。指導者研修会については、郡人推連協の講師団講師研修会と共催で、人数制限を設けて実施しました。				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
ヒューマンライツセミナー年間参加者数（延べ人数）	人	38	73	92	100 25	100

5. 人権教育の推進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①	指導者研修会 参加者数	実績（値）	25人
	独自の指標②		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由） ①ヒューマンライツセミナーin上牧 上牧町子どもの居場所づくり事業（奈良県子どもの「心と学び」サポート事業受託）について、北嶋理加さん（上牧町社会福祉協議会事務局長補佐）と山本真介さん（奈良県社会福祉協議会学習支援員）に報告していただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、人数を制限して実施しました。 ②指導者研修会 「命と絆とそなえ～記録映像で振り返る阪神・淡路大震災～」と題して、松崎太亮さん（神戸市役所企画調整室つなぐラボスマートシティ担当課長）に講演していただきました。当初は広く参加者を募集するとしていましたが、これも人数を制限しての開催となりました。講演の中で、新型コロナウイルス感染に関する偏見や差別についても提起していただきました。 ③家庭教育講座との共催で、「子どもの声が聞こえていますか～日々の子どもへの声かけ、接し方～」と題して中村衛さん（元上牧小学校校長、奈良県教育研究所学校経営アドバイザー）に講演していただきました。参加者からは「子どもと楽しい時間を過ごせる大切なことを忘れていました。」「楽しく子育てできることに感謝したい。」など、感動の声が多く寄せられ、子どもへの声かけ・接し方を今一度見つめ直す機会をもっていただく貴重な研修となりました。31名参加 研修図書・資料等、各所属において有効活用することができました。 各関係団体助成金、負担金により、人権に関する講演会、研修会に各会員が積極的に参加し、人権意識を高めることができました。 人権標語 中学1年生190人（県提出6点） 人権ポスター 小学4,5年生302人（県提出4点） 人権作文募集は全児童・生徒対象で、選考作品を人権作文集として各人権教育団体や各学校で作成されました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 平成28年度人権三法（障害者差別解消法、ハイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法）が施行され、その後、人権に関係した条例等、法整備が年々進められてきており、差別をなくすための施策と行動をさらに充実させなければならない責任が増えてきたと考えられます。インターネットによる差別書き込みやSNSによる差別扇動、庁舎の窓口への「同和地区問い合わせ」等に加えて、昨年度からは「コロナ差別」も大きな社会問題となってきており、それに対応した取組や組織づくりが求められています。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 人権学習の取組について、コロナ禍においては、感染予防対策を取りながら、開催条件を工夫するなど、実施方法を検討する必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見通し	
取組状況								
見通し								
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルスの感染症拡大予防のため、研修会等は定員制を設けて実施する必要があると考えます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらない場合にあっても、情勢に応じてできることを探っていくことが必要です。また、家庭教育講座や他の講座で内容が重なる場合には、共催するなど、取組の機会を増やすよう努力したいと思います。						
2021年度（R03） 実施予定		令和3年度も行政・幼稚園・小中学校・地域が連携し、積極的な人権学習を推進します。また、ヒューマンライツセミナー・指導者研修会等を実施し、人権学習の継続と発展を推進します。新型コロナウイルス感染症の影響で、参加者を制限することが必要であるを思われますので、男女共同参画関係、家庭教育講座等の研修会との連携により、研修の機会を増やす方向で取り組みたいを考えます。						
		KPI	ヒューマンライツセミナー年間参加者数（延べ人数）	60人				
		指標（予定）	独自の指標	指導者研修会 参加者数				
				60人				

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	文化振興課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	49ページ
担当係	図書館係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト		
	取組内容	6	④ 子どもの読書活動の推進	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>子どもたちを取り巻く生活環境の変化、余暇の過ごし方の多様化、さらに幼児期からの読書習慣の未形成等により、子どもの「読書離れ」が指摘されています。読書活動は子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものであるため、学校と図書館が連携し、子どもが自由に本を選び、読書を楽しむ機会を創出していきます。</p> <p>○子どもの成長に合わせた本を選び、定期的に貸出 ○図書館訪問の受け入れ ○図書館員による学童保育所でのブックトーク（1つのテーマにそって数冊の本を紹介）</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考
事業費				
合計	0	0	0	3年間累計 0

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	④計画を変更して実施した
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校に対して朝の読書活動に利用できる本や授業のテーマに合わせた本の貸出等は実施できませんでしたが、ビデオでの図書館紹介や人権総合学習の一環として、リモートで図書館についての質問に答えました。また、圖書の団体貸出については小学校3校への周知を行いました。

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
圖書の団体貸出を行う学校数（年間）	校	—	1	1	3 —	3

6. 子どもの読書活動の推進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校に対して朝の読書活動に利用できる本や授業のテーマに合わせた本の貸出等は実施できませんでしたが、ビデオでの図書館紹介では子どもたちがゆっくりと館内を見学することができ、自分たちの町の図書館について知ってもらうことができました。リモートでの人権総合学習は子どもたちからたくさんの質問が出て、図書館の役割やサービスについて理解を深めることができました。図書の団体貸出については小学校3校に周知し、安心・安全に貸出ができるように本の除菌BOXを導入しました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 子どもの頃の読書活動は豊かな人生への第一歩となります。子どもが自由に本を選び、読書を楽しむという子どもと本をつなぐ役割を学校と図書館が連携して行っていくことが必要であり、今後もニーズは高いと考えられます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 引き続き学校への図書の団体貸出を実施していきますが、コロナ禍でも実施できる方法を検討していきたいと考えています。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見直し									
取組状況														
見直し														
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）												
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 学校への図書の団体貸出を実施していくとともに、コロナ禍でも実施できる方法を工夫していきたいと考えています。												
2021年度（R03） 実施予定		引き続き、学校と図書館が連携し、子どもが自由に本を選び、読書を楽しめる機会の創出に取り組みます。現在は小学校のみの周知となっていますが、今後は中学校等とも連携していきたいと考えています。また、コロナ禍でもできる交流も続けていきます。												
指標（予定）		<table border="1"> <tr> <td>KPI</td> <td>図書の団体貸出を行う学校数（年間）</td> <td>3校</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	KPI	図書の団体貸出を行う学校数（年間）	3校	—			—			—		
KPI	図書の団体貸出を行う学校数（年間）	3校												
—														
—														
—														

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	こども未来課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	49ページ
担当係	こども支援係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	③ 地域ぐるみの子育て支援		
	取組内容	7	① 情報交換拠点の整備	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
実施内容	説明 (⑤その他の場合)			
	つどいの広場等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年2月の終わりから休所としており、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら再開の判断を行います。 再開した場合は、感染予防に気を配りながら、乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う場を提供し、子育てについての相談・情報の提供・助言その他の支援を行います。地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを推進することを目的として2000人会館とラスパ西大和内ささゆりルームで「おひさま広場」や「サロンぽけっと」等を実施します。 「おひさま広場」は子育て中の孤立感の軽減や社会参加のきっかけ作りとなる場で、親子遊び等を行います。 「サロンぽけっと」は親子のくつろぎの空間と時間を提供し、誕生日会等の企画開催等を行います。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考		
事業費	つどいの広場事業	4,540	4,540	4,540		
合計	4,540	4,540	4,540	3年間累計	13,620	

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した			
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
つどいの広場・おひさま広場の年間利用者数（延べ人数）	人	5,182	4,149	4,014	2,000 2,460	3,980

7. 情報交換拠点の整備

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった									
	独自の指標①		実績（値）										
	独自の指標②		実績（値）										
	●事業の分析（評価の根拠・理由） つどいの広場等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月まで閉所としました。6月から再開しましたが、密を避けるため、今までは設けていなかった定員を設け、2000年会館では25名、ラスパ西大和内ささゆりルームでは15名としました。国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用して感染予防のための物品を購入し、定期的な消毒や換気等、感染予防対策を行いながらの実施となりました。総利用者数は目標値を上回り、コロナ禍で子育て中の孤独感が深まることもある中、子育て中の親子が交流できる場を提供することができ、概ね目標の成果が得られたと考えます。												
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。													
つどいの広場参加者数 (人)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2	0	0	233	205	144	233	236	250	235	258	354	312	2,460
R1	395	339	315	395	302	441	381	421	318	366	341	0	4,014
H30	322	257	320	387	425	370	343	359	276	264	400	426	4,149
H29	418	325	434	451	340	461	335	293	327	333	369	300	4,386
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある									
	評価の根拠及び理由 事業の取組については一定の評価を得ているものと判断しています。社会環境の変化等により子育て支援のニーズは増加する傾向にあると考えます。												
事業の見直し余地 (改善点)	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない									
	評価の根拠及び理由 定員を設けていますが、定員超過のために受け入れできなかったことはほとんどありません。しかし今後定員超過が常態化することがあれば、何らかの方法を考える必要があると考えます。												

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 →	取組状況 見通し
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続
	改善内容 (改善点に対する改善方法等)	<input type="checkbox"/> 特になし	<input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり (下の枠に改善内容を記載してください。) 定員超過が常態化することがあれば、2つのクラスに分けることは人的にも場所的にも難しいため、その場合は2部制の導入を検討する必要があります。
2021年度（R03） 実施予定		令和3年度は、2000年会館が新型コロナウイルスワクチンの接種会場になる予定であり、開催日時や場所について調整が必要と考えます。 引き続き感染予防対策を行いながら、乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う場を提供し、子育てについての相談・情報の提供・助言その他の援助を行います。地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを推進することを目的として2000年会館とラスパ西大和内ささゆりルームで「おひさま広場」や「サロンぽけっと」等を実施します。	
指標 (予定)	KPI	つどいの広場・おひさま広場の年間利用者数（延べ人数）	2,900人
	—		
	—		
	—		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	こども未来課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	49ページ
担当係	こども支援係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	③ 地域ぐるみの子育て支援		
	取組内容	8	② 地域における保育環境の改善事業	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	保護者の子育てや就労を支援することを目的に、町立上牧幼稚園で教育時間終了後に引き続き園児をお預かりする「預かり保育」を実施します。平成30年度からは夏休み期間も実施しています。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度		2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	預かり保育事業	753	392	1,172		
合計		753	392	1,172	3年間累計	2,317
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）					

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
預かり保育の年間利用者数（延べ人数）	人	—	2,537	2,240	2,045 797	1,840

8. 地域における保育環境の改善事業

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																																				
	独自の指標①			実績（値）																																																																																				
	独自の指標②			実績（値）																																																																																				
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>保護者の子育てや就労を支援するために上牧幼稚園で預かり保育を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止による利用自粛や1年を通じて続いたコロナ禍で利用が大幅に減少しましたが、コロナ禍で幼稚園が休園になった際にも手指消毒や定期的な換気等感染予防対策を行いながら実施し、必要とする保護者には子育て支援を図ることができたため、概ね目標の成果が得られたと考えます。（1回：200円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育利用回数 平成29年度：1,639回 平成30年度：2,537回 令和元年度：2,240回 令和2年度：797回 ・上牧幼稚園園児数 平成29年度：168人 平成30年度：161人 令和元年度：155人 令和2年度：132人 																																																																																							
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th colspan="13">預かり保育利用回数</th> <th>(回)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>夏休み</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>39</td> <td>94</td> <td>59</td> <td>90</td> <td>82</td> <td>112</td> <td>95</td> <td>121</td> <td>84</td> <td>797</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>66</td> <td>148</td> <td>199</td> <td>135</td> <td>376</td> <td>176</td> <td>218</td> <td>220</td> <td>185</td> <td>213</td> <td>231</td> <td>73</td> <td>2,240</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>69</td> <td>167</td> <td>216</td> <td>124</td> <td>422</td> <td>178</td> <td>207</td> <td>279</td> <td>218</td> <td>215</td> <td>262</td> <td>180</td> <td>2,537</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>30</td> <td>80</td> <td>157</td> <td>118</td> <td>0</td> <td>115</td> <td>194</td> <td>187</td> <td>192</td> <td>137</td> <td>221</td> <td>208</td> <td>1,639</td> </tr> </tbody> </table>					預かり保育利用回数													(回)		4月	5月	6月	7月	夏休み	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R2	4	3	14	39	94	59	90	82	112	95	121	84	797	R1	66	148	199	135	376	176	218	220	185	213	231	73	2,240	H30	69	167	216	124	422	178	207	279	218	215	262	180	2,537	H29	30	80	157	118	0	115	194	187	192	137	221	208	1,639
預かり保育利用回数													(回)																																																																											
	4月	5月	6月	7月	夏休み	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																											
R2	4	3	14	39	94	59	90	82	112	95	121	84	797																																																																											
R1	66	148	199	135	376	176	218	220	185	213	231	73	2,240																																																																											
H30	69	167	216	124	422	178	207	279	218	215	262	180	2,537																																																																											
H29	30	80	157	118	0	115	194	187	192	137	221	208	1,639																																																																											
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																																				
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>多様な保育需要に対応するため夏季休業中の保育も実施するなど、保護者の育児負担の軽減や就労支援に取り組んでいるので、今後さらにニーズは増加すると考えます。</p>																																																																																							
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																																																																																				
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>今年度の夏季休業中の預かり保育は抽選にはなりませんでした。来年度以降も希望者全てを受け入れられるよう見直しが必要です。</p>																																																																																							

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display:inline-table; vertical-align:middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見直し												
取組状況																	
見直し																	
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）															
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 夏季休業中の預かり保育については、教育総務課と連携し、希望者全てを受け入れられる体制を整え、また、定員を規定する規則の一部改正を行い、定員の規定をなくす予定です。															
2021年度（R03） 実施予定		<p>引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら上牧幼稚園で預かり保育を実施します。夏季休業中の預かり保育についても、希望者全てを受け入れて実施します。</p> <table border="1" style="width:100%;"> <thead> <tr> <th>指標（予定）</th> <th>KPI</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>預かり保育の年間利用者数（延べ人数）</td> <td>1,000人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標（予定）	KPI	値		預かり保育の年間利用者数（延べ人数）	1,000人		—			—			—	
指標（予定）	KPI	値															
	預かり保育の年間利用者数（延べ人数）	1,000人															
	—																
	—																
	—																

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	教育総務課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	49ページ
担当係	学校教育係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実		
	取組内容	9	① 英語教育の充実	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	グローバル化に少しでも幼いうちから慣れ親しめるように、英語を母国語とし、ある程度日本語での会話が可能な日本滞在の外国人講師を定期的に招き、一緒に英語の歌を歌ったり、ダンスをします。そのほかにも英語による簡単な指示（jumpとかturn等）に合わせて体を動かしたりするなど「英語を使って楽しむ」ということに重点を置き、簡単な挨拶や自己紹介を英語でやってみるなど、日常的な英会話に触れることを目的に英語教育を実施します。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考		
事業費	委託料	1,831	1,848	1,848		
合計	1,831	1,848	1,848	3年間累計	5,527	

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった	
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	新型コロナウイルス感染症防止対策による臨時休園のため、年間の実施回数が減少しています。 （年中3回、年長3回 計6回減少）	

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
英会話教室の年間開催数	回	21	35	33	35 29	35

9. 英語教育の充実

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①			実績（値）
	独自の指標②			実績（値）
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>英語の歌を歌ったり、ダンスをするなどして「英語を使って楽しむ」という当初の目的も達成できています。受動的に英語に触れるだけではなく、簡単な英語で表現したり、挨拶や自己紹介を英語でできるようになってきています。概ね月1～2回 年中・年長40分間、年少30分間（10月～）行いました。授業内容は挨拶から始まり、その後、英語で歌を歌ったり、ゲームをすること等で、幼児の興味、関心がさらに高まってきています。（1日1学年実施）また、英語で歌う歌や、ダンスの曲を変えた際にも、子どもたちは戸惑うどころか、いつもより楽しんで取り組んでいる姿が見受けられていることから、英語に対して抵抗感なく興味をもって楽しむことができていると考えます。また、新型コロナウイルス感染症対策では、換気を行い、間隔をあげながら実施するなどの対策を講じながら安全に実施しました。</p> <p>年少：37人 火曜日（月に1～2回） 年9回実施 【年少は10月から実施】 年中：45人 火曜日（月に1～2回） 年10回実施 年長：52人 金曜日（月に1～2回） 年10回実施</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による臨時休園及び短縮保育のため、4～6月中旬までに実施予定であった年中及び年長の6回分が中止になりました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>対象が幼児ということもあり、大人に比べ英語に耳が慣れるのも早いと思われます。また、毎回、講師が歌っている英語の歌については、一緒に歌える園児もいるほどで、子ども自身が楽しみながら英語を身につけられています。英語教育の重要性については保護者からの期待も高く、英語教育のさらなる充実を求める声が聞かれます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>英語の歌やダンスを中心とした、遊びながら自然と身につく英語教育に引き続き取り組んでいき、今後ますます進んでいくグローバル化に少しでも幼少期から発音や表現に慣れ親しめるように、より専門性と安全性を確保するため英語を母国語とする日本滞在の外国の方を招いて園でのイベント等を一緒に行うなど、今まで以上に日常的に英語に触れることを目的に進めていきたいと思っています。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見直し										
取組状況															
見直し															
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）													
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 令和元年度に保護者に対して実施したアンケートの結果では、英語教育で何を実施しているのかあまり内容を把握していないとの意見がありましたので、ホームページ、PTA広報誌、クラスだより、園内掲示板への展示等で情報発信を行うなど、保護者の理解を深め、ニーズに応えられるよう研究をしていきたいと考えます。													
2021年度（R03） 実施予定		令和3年度においても、引き続き簡単な挨拶や自己紹介を英語でやってみるなど、子どもたちが楽しんで日常的な英会話や生きた英語にいつでもふられるように英語の絵本等を設置するなど環境を整える予定です。 また、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら安全に実施できるよう努めていきたいと考えます。													
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">指標（予定）</td> <td>KPI</td> <td>英会話教室の年間開催数</td> <td>35回</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標（予定）	KPI	英会話教室の年間開催数	35回	—			—			—		
指標（予定）	KPI	英会話教室の年間開催数		35回											
	—														
	—														
	—														

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	教育総務課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	49ページ
担当係		関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える			
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実			
	施策	④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実			
	取組内容	10	② 体育教育の充実		
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）			
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）			
	説明 （⑤その他の場合）				
実施内容	「走る」「跳ぶ」「投げる」といった基本的な運動能力を向上させるために、専門家に指導してもらいます。例えばマット運動では、年少クラスは犬やウサギ、ヘビ等の動物模倣、年中・年長クラスでは横転やサイドステップ・スキップ等、子どもの成長段階に応じた指導を行います。また、肥満や骨折防止及び基礎体力の向上を目指します。				
独自の指標	指標①		目標（値）		
	指標②		目標（値）		

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	委託料	180	135	180	
合計	180	135	180	3年間累計	495

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった			
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	新型コロナウイルス感染症防止対策による臨時休園のため、年間の実施回数が減少しています。（3回分減少）			

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
体育教室の年間開催数	回	11	12	11	12 9	12

10. 体育教育の充実

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>運動指導について、適切な指導により、怪我をすることなく安全に、マット運動・鉄棒・跳び箱・縄跳び等の練習を繰り返したことで、でんぐり返り・逆上がり・跳び箱・縄跳びをできる子どもがたくさん出てきています。運動が苦手な子どもでもわかりやすい指導で、苦手克服につながり、子どもたちの自信につながっているように思われます。また、休み時間に、体育教室で習った縄跳びや鉄棒等に自分から取り組む姿も見られ、運動に対する興味や関心がより一層高まったように考えられることから、体育教室の目標は達成できていると考えます。月1回 年少30分、年中40分、年長50分間で年齢に沿ったカリキュラムを実施しました。（1日に全学年、クラスごとに実施）また、新型コロナウイルス感染症対策では、密を避けるため学年ごとで行っていた指導をクラスごとに分け、外での指導を増やしたり、室内で行う際にも換気を行い間隔をあけたりするなど配慮しました。縄跳び等の道具を使用した際には、職員が毎回消毒を行うなど、感染症対策を講じながら安全に実施しました。</p> <p>令和2年度実施回数 9回（指導を受けた日数＝回数） 年少：37人 年中：45人 年長：52人</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による臨時休園及び親子参観中止のため、4～6月中旬までに実施予定であった3回分が中止になりました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>運動が得意な子どもがよりレベルの高い課題に専門家の指導のもとに挑戦することができるだけでなく、運動が苦手な子どもも幼稚園で安全な環境の中、専門家が設定するスモールステップにより適切に指導されることで運動が好きになり、運動習慣が身についていくと考えられます。園で専門の講師に指導してもらえるので、仕事で忙しい保護者や経済的に困難な理由で民間の体育教室に通うことが難しい家庭等、保護者からの事業実施への期待が高まっています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>就学前教育の根幹にあるものにとらえて、園児一人ひとりが自らの活動の中で遊びを中心とした生活を通して発達段階や適性に応じて総合的な指導が求められていますので、引き続き、民間のスポーツ講師に指導していただき、体を動かしたくなる環境づくり、園児の基礎体力の向上を目指します。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見直し	
取組状況						
見直し						
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）				
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 令和元年度に保護者に対して実施したアンケートの結果では、体育教育で何を実施しているのかあまり内容を把握していないとの意見がありましたので、ホームページ、PTA広報誌、クラスだより、園内掲示板への展示等で情報発信を行うなど、保護者の理解を深め、ニーズに応えられるよう研究をしていきたいと考えます。				
2021年度（R03） 実施予定		令和3年度においても、引き続き本事業を継続して実施し、進んで運動に取り組む力、園児の基礎体力の向上を目指します。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら安全に実施できるよう努めていきたいと考えます。				
指標（予定）	KPI	体育教室の年間開催数	12回			
	—					
	—					
	—					

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	こども未来課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	49ページ
担当係	こども支援係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実		
	取組内容	11	③ 乳幼児教室の充実	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
実施内容	説明 (⑤その他の場合)			
	上牧第1保育所で行う乳幼児教育の取組について、0歳から就学前の時期を乳幼児といい、その成長は著しく、人格形成の基礎を作る重要な時期とされています。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭にバランスよく保育計画を立て、保育を行います。また、英語知育教育による言葉、和太鼓ミュージックケアによる音感・表現・健康教育、食育菜園活動等から学ぶ環境・命の大切さ、集団生活の中での人間関係等さまざまな視点から乳幼児教育を行います。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
英語知育教育	130	197	234		
和太鼓ミュージックケア	239	359	359		
合計	369	556	593	3年間累計	1,518

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した			
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 (H27) 【基準値】	2018年度 (H30) 【基準値】	2019年度 (R01)	2020年度 (R02)	2021年度 (R03) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
乳幼児教室年間開催数	回	18	20	20	36 36	36

11. 乳幼児教室の充実

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>英語知育教育は、外国人英語教師が毎月1回来所し、今年度から3・4歳児も対象として、3・4・5歳児クラスを対象に、3・4歳児は交替で隔月、5歳児は毎月でクラスを分けて合計90分に時間を増やし実施しました。英語のリズムに合わせて歌やダンス、ゲームに取り組んだ結果、英語やアルファベットに対して興味を示し、もっと覚えたい、知りたいという意欲を持つなど、英語という異文化に触れ楽しんでる姿や楽しかったことを家族に嬉しそうに話している園児の姿が見られました。</p> <p>和太鼓ミュージックケアも今年度から毎月1回に増やし、5歳児クラスを対象に90分、音楽に合わせてリズムをとり身体を大きく動き表現することに取り組んだ結果、リズム感が鍛えられ、集中力を養い、共通性が生まれたと考えます。</p> <p>外遊び体育指導者研修を受講した男性保育士が4歳児クラスに配属されており、跳び箱やマット運動、鉄棒や縄跳びに楽しく取り組みました。子どもが興味を持ったものに関わりながら学ぶことができ、子ども自身がスキルアップのために自主的に練習し努力する姿が見られました。</p> <p>このことから、概ね目標の成果が得られたと考えます。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>大きくなれば自分たちもやれるという期待感や憧れを抱き、苦手意識を持つことなく子ども自身がスムーズに対応できるようにしておくことは非常に重要なことだと思われるので今後さらにニーズは拡大すると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>子どもたちに豊かな経験をさせることによって学力や意欲・忍耐力・持久力等が育ち、能力の向上につながるため、英語知育教育及び和太鼓ミュージックケア終了後に子どもたちから感想等について聞き取りを行いながら今後も継続して実施していく予定です。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見直し	
取組状況						
見直し						
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）				
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>英語知育教育及び和太鼓ミュージックケア終了後に子どもたちから感想など聞き取りを行いながら、子どもたちの実情に応じ、事業の拡大も検討していきます。</p>				
2021年度（R03） 実施予定		<p>子どもたちに豊かな経験をさせることによって学力や意欲・忍耐力・持久力等が育ち、能力の向上につながるため、引き続き英語知育教育・和太鼓指導を行い、子どもたちの様子を見ながら事業内容を見直していきます。</p>				
指標（予定）	KPI	乳幼児教室年間開催数	36回			
	—					
	—					
	—					

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	教育総務課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	50ページ
担当係	学校教育係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	⑤ 多様な学びの場における支援		
	取組内容	12	① 通級指導教室（ベガサス教室）の充実	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>学校において、特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあり、また、障がいの種類や程度によっては、特別支援学級に入級せず、コミュニケーションや学習に課題を抱える児童に対し、通級指導教室で個々の教育ニーズに合った教育を行います。令和元年度に引き続き、令和2年度についても児童や家庭の要望に応じて、児童が通級指導教室に来て指導を受ける形態や、教員が各校を訪問して指導する訪問通級指導の形態をとり、実施していきます。</p> <p>また、令和2年度は中学校通級指導教室を開設し、本町では就学前教室、小学校ベガサス教室及び中学校ベガサス教室を段階的に継続した、よりきめ細かい指導を実施していきます。</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考		
事業費	報酬等	79	1,789	4,973		
	需用費	328	380	481		
	役務費	182	190	201		
	備品購入費	196	312	937		
	合計	785	2,671	6,592	3年間累計	10,048
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、小学校通級指導教室を休業しました。（令和2年9月7日から再開）				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
通級指導教員数	人	1	2	3	4 4	4

12. 通級指導教室（ペガサス教室）の充実

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																								
	独自の指標①			実績（値）																																																																								
	独自の指標②			実績（値）																																																																								
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>コミュニケーションや学習につまずきを感じている児童に寄り添いながら個々の児童の能力を伸ばさせていく形で小学校通級指導教室の運営を行うことができました。指導方法の創意工夫や保護者からの教育相談に丁寧に対応し、また、他の教職員に対する指導助言等が総合的に効果を上げ、コミュニケーションや学習に課題を抱える児童の成長が見られました。</p> <p>さらに、教員が上牧町や王寺町・河合町の児童在籍校に赴いて指導する訪問通級指導も定着し、北葛城郡における通級指導教育のセンター的役割を果たすことができました。そのことが、個別の教育的ニーズのある児童生徒への対応等、インクルーシブ教育システム構築につながるものだと考えます。</p> <p>令和2年度は、以前から小学校通級指導教室に通う児童の保護者や学校教員から要望の大きかった中学校通級指導教室を開設し、小学校に引き続き個々の生徒に応じたきめ細やかな指導を行いました。</p>																																																																											
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">小学校 通級指導教室 利用人数（人）</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧町</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>36</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>王寺町</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>河合町</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>広陵町</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="8">中学校 通級指導教室 利用人数（人）</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>上牧町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					小学校 通級指導教室 利用人数（人）									H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	上牧町	22	25	35	31	31	36	43	王寺町	3	6	5	9	13	17	15	河合町	1	3	3	5	8	9	12	広陵町	4	11	12	15	25			中学校 通級指導教室 利用人数（人）									H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	上牧町							5
小学校 通級指導教室 利用人数（人）																																																																												
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																																																					
上牧町	22	25	35	31	31	36	43																																																																					
王寺町	3	6	5	9	13	17	15																																																																					
河合町	1	3	3	5	8	9	12																																																																					
広陵町	4	11	12	15	25																																																																							
中学校 通級指導教室 利用人数（人）																																																																												
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																																																					
上牧町							5																																																																					
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>質の高い指導が保護者から好評で、指導時間や回数を増やしてほしいとの要望や、中学校通級指導教室では王寺町や河合町の生徒を受け入れてほしいとの声が上がっています。</p>																																																																											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>指導時間や回数等の要望がありますので、ニーズに合った指導ができるように検討していきたいと考えます。県と市町村との地域連携の1つでもある本事業は、保護者や教職員の理解も深まっており、訪問通級指導の実施による北葛城郡内のセンター的役割も担い、総合的に効果を上げていると考えます。そのため、担当以外の教職員についても、通級指導教室に対する理解を深めていく必要があると考えます。</p> <p>また、中学校通級指導教室を開設したことに伴い、児童生徒に対する継続した指導ができるよう、小中学校の連携が求められると考えます。</p>																																																																											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>		取組状況		見直し									
	取組状況													
見直し														
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）												
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>自閉情緒等の障がいを抱える子どもたちが、集団の中でストレスを抱え込むことなく、充実した学校生活を送ることができるよう、それぞれの子どもの教育的ニーズや、保護者の願いにより応えることができるよう、通級指導体制の充実を図ります。通級指導教室に対する理解を深めることを目的として、担当以外の教職員に対しても奈良県立教育研究所が開催している研修会への参加を促していきます。</p> <p>また、令和2年度から中学校通級指導教室を開設したことに伴い、児童生徒に対する継続した指導ができるよう、小中学校の連携を密にして進めていきます。</p>												
2021年度（R03） 実施予定	<p>令和3年度も、引き続き王寺町・河合町と本町で小学校通級指導教室を実施し、訪問通級指導についても実施していく予定です。中学校通級指導教室についても、継続して実施し、小中学校で継続したよりきめ細やかな指導を実施していきます。また、新型コロナウイルス感染症対策において、グループ指導の際にはパーテーションを使用するなどの対策を講じながら安全に実施できるよう努めていきたいと考えます。</p> <p>また、通級指導員を指導する指導員を配置し、より一層事業の充実を目指します。</p>													
	指標（予定）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>通級指導教員数</th> <th>4人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	KPI	通級指導教員数	4人	—			—			—		
	KPI	通級指導教員数	4人											
—														
—														
—														

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	50ページ
担当係	健康増進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	⑤ 多様な学びの場における支援		
	取組内容	13	② ほほ笑み教室の開催	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	新型コロナウイルスの感染拡大状況等を確認し、感染拡大防止対策を十分に講じて療育支援教室を行います。 小集団の中で一人ひとりの発達や特徴に合わせ、遊びを通じて心身の発達や社会性を促す指導及び助言を行う療育プログラムを実施します。ことば・コミュニケーション・行動面・発達面等に遅れや不安・心配がある就学前の幼児が対象で、火曜日・金曜日のいずれかに週1回行います。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考		
事業費	報償費	162	149	176		
	需用費	32	39	17		
	役務費	91	89	120		
合計	285	277	313	3年間累計	875	

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した			
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
教室利用者の満足度（5段階評価）	段階評価	—	—	4.5	4.5 4.7	4.8

※総合戦略（改訂版）において、当初「教室利用者の満足度」については、「4段階評価」で目標値（R03）を「3/4以上」と設定していましたが、実際にアンケート調査を実施するにあたって、「5段階評価」に変更したため、5段階評価の数値を記載しています。

13. ほほ笑い教室の開催

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																								
	独自の指標①		実績（値）																									
	独自の指標②		実績（値）																									
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>令和2年度の上期・下期において、保護者を対象に療育支援教室の評価を行うとともに、更なる内容の充実を図るためにアンケートを実施しました。利用者満足度を7項目に渡り5段階評価にて行いました。年々満足度は伸びており、利用されている幼児と保護者の充実感がうかがえます。アンケート結果より通級当初より幼児の体力・精神発達面に少しずつ成長が見られ、遊びを通して興味や関心が広がりつつある状態に高い満足度を抱いていると考えます。（在籍人数）令和元年度：10名、令和2年度：8名。</p>																											
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>																												
<table border="1"> <caption>教室の支援に関する満足度比較</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R2年度</th> <th>Rn年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教室の支援に満足していますか</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>教室環境は整っていますか</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>保護者への助言やサポートはありますか</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>回数・時間はどうですか</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>子どもは成長しましたか</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>教室を楽しみにしていますか</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>内容は子どもに合っていますか</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table>					項目	R2年度	Rn年度	教室の支援に満足していますか	4.8	4.8	教室環境は整っていますか	4.8	4.8	保護者への助言やサポートはありますか	4.8	4.8	回数・時間はどうですか	4.5	4.5	子どもは成長しましたか	4.5	4.5	教室を楽しみにしていますか	4.8	4.8	内容は子どもに合っていますか	4.8	4.8
項目	R2年度	Rn年度																										
教室の支援に満足していますか	4.8	4.8																										
教室環境は整っていますか	4.8	4.8																										
保護者への助言やサポートはありますか	4.8	4.8																										
回数・時間はどうですか	4.5	4.5																										
子どもは成長しましたか	4.5	4.5																										
教室を楽しみにしていますか	4.8	4.8																										
内容は子どもに合っていますか	4.8	4.8																										
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>発達障害を持つ子どもやその保護者の子育てを支援し、また、子育てに関する悩みについての相談等を指導員が行っています。集団行動がうまくいかず、悩みや不安を持つ幼児や保護者の支援と少人数での療育支援を行うことで就学後のスムーズな集団生活につなげたいと考えています。毎年、発達相談や幼児健診において、発達遅滞が疑われる幼児が複数おり、早期から療育支援につなげていくことが重要だと考えます。</p>																											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を見ながら感染防止策を十分に行い、安心安全にほほ笑い教室を行います。（1クラスの人数制限を設けており、幼児・指導員・保護者を含め10名以内としています。）また、発達遅滞が疑われる幼児にほほ笑い教室を案内していますが、中には幼児の個性と捉え、通級に至っていない例があるため、少しでも多くの幼児が通級に至るよう声かけを継続していく必要があります。</p>																											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見通し						
取組状況											
見通し											
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）									
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、感染防止対策を十分に講じ、安心安全にほほ笑い教室を行います。一人ひとりの成長に合わせた支援が今後も引き続き必要であり、発達相談や健診において発達遅滞が疑われる幼児にほほ笑い教室を案内していますが、中には幼児の個性と捉え、通級に至っていない例があります。引き続き発達の早期支援の必要性を伝え、少しでも多くの幼児が通級に至るよう助言を行っていきます。 また、既に教室に通っている幼児の保護者にアンケートを実施し、満足度の高い療育支援になるよう改善していきます。									
2021年度（R03） 実施予定		新型コロナウイルス感染症状況を見ながら感染防止策を十分に行い、安心安全にほほ笑い教室を行います。発達相談や健診にて発達が気になる幼児に早期からの療育支援の必要性を伝え、療育支援教室への通級の声かけを行い、個々に合わせた成長を促していきます。									
	指標（予定）	<table border="1"> <tr> <td>KPI</td> <td>教室利用者の満足度（5段階評価）</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	KPI	教室利用者の満足度（5段階評価）	4.8	—			—		
KPI	教室利用者の満足度（5段階評価）	4.8									
—											
—											

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	50ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	⑥ 青少年の健全な育成		
	取組内容	14	① 様々な専門講座の開催	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>青少年の健全な育成を目的に、子ども体験学習事業として、青少年に様々な活動や体験学習を実施します。また、実施内容については、令和元年度に引き続き理科の実験・工作教室（3回）を継続して実施し、新しい取組として茶道体験教室（2回）を実施します。新型コロナウイルス感染症の影響により、青少年健全育成事業で実施しているジュニアリーダー研修が実施できない可能性があるため、「子ども体験学習」において、追加で新しく体験講座を企画し、講座回数を増やしていくことを検討しています。</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
子ども体験学習事業	80	106	136		
合計	80	106	136	3年間累計	322

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
専門講座の年間開催数	回	—	4	4	5 7	6

14. 様々な専門講座の開催

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																		
	独自の指標①		実績（値）																			
	独自の指標②		実績（値）																			
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>理科好きの子どもの育成を目的として、前年度に引き続き理科の実験・工作教室を主として実施しました。また、参加者数について、新型コロナウイルス感染症の影響により定員を縮小して実施したため、前年度より少なくなっています。しかし、新規の講座（茶道体験）の実施や、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった事業の代替企画として追加で体験学習を実施するなど、講座の開催数の増加に努めました。</p> <p>（実施内容）</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>プログラミング教室「ロボットカーを動かそう」</td> <td>(小学5・6年生) 8名</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>科学実験とおもちゃ（グライダー）作り</td> <td>(未就学児・保護者) 14組43名</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>理科工作教室（イライラ棒・炭電池）</td> <td>(小学5・6年生) 13名</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>科学実験とおもちゃ作り</td> <td>(未就学児・保護者) 10組17名</td> </tr> <tr> <td>第5・6回</td> <td>茶道体験</td> <td>(小学3～6年生) 第5回：8名、第6回：5名</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>日光写真（追加）</td> <td>(小学5・6年生) 7名</td> </tr> </table> <p>※第7回については、新型コロナウイルスの影響により、青少年健全育成事業で実施している令和2年度ジュニアリーダー研修が中止となったため、追加で体験講座を実施しました。</p>					第1回	プログラミング教室「ロボットカーを動かそう」	(小学5・6年生) 8名	第2回	科学実験とおもちゃ（グライダー）作り	(未就学児・保護者) 14組43名	第3回	理科工作教室（イライラ棒・炭電池）	(小学5・6年生) 13名	第4回	科学実験とおもちゃ作り	(未就学児・保護者) 10組17名	第5・6回	茶道体験	(小学3～6年生) 第5回：8名、第6回：5名	第7回	日光写真（追加）
第1回	プログラミング教室「ロボットカーを動かそう」	(小学5・6年生) 8名																				
第2回	科学実験とおもちゃ（グライダー）作り	(未就学児・保護者) 14組43名																				
第3回	理科工作教室（イライラ棒・炭電池）	(小学5・6年生) 13名																				
第4回	科学実験とおもちゃ作り	(未就学児・保護者) 10組17名																				
第5・6回	茶道体験	(小学3～6年生) 第5回：8名、第6回：5名																				
第7回	日光写真（追加）	(小学5・6年生) 7名																				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <table border="0"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>親子参加者数</td> <td>：59組154名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>体験講座開催数</td> <td>：4回</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>親子参加者数</td> <td>：24組101名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>体験講座開催数</td> <td>：7回</td> </tr> </table> <p>参加者アンケートによる、今後の講座で取り上げてほしいテーマ（一例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お菓子作り ・絵本作り ・スポーツ体験 ・外国の遊び体験 ・おもちゃ作り ・スライム作り 					令和元年度	親子参加者数	：59組154名		体験講座開催数	：4回	令和2年度	親子参加者数	：24組101名		体験講座開催数	：7回						
令和元年度	親子参加者数	：59組154名																				
	体験講座開催数	：4回																				
令和2年度	親子参加者数	：24組101名																				
	体験講座開催数	：7回																				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																		
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>普段、学校の授業では体験できないような個々の能力を伸ばす専門的な体験講座の開催が求められています。</p>																					
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																		
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>子ども体験学習事業は、平成28年度から実施しており、理科好きの子どもの育成を目的として、理科の実験・工作教室を継続的に実施していく予定です。また、今後は子ども達のニーズを把握しながら、他の体験講座についても実施を検討していく必要があると考えます。</p>																					

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見通し	
取組状況								
見通し								
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） アンケート調査を実施し、その結果を基に今後の体験講座を検討していきたいと考えます。						
2021年度（R03） 実施予定		<p>引き続き、子ども体験学習事業を実施する予定です。また、新しい取組として、木工工作を採り入れ、全6回の体験講座を開催する予定です。さらに、バガサスフェスタ開催日にブースを設けることで、より多くの子どもたち、保護者に積極的に参加し体験していただきたいと考えています。</p>						
	指標（予定）	KPI	専門講座の年間開催数	6回				
		—						
		—						

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	50ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部署			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	⑥ 青少年の健全な育成		
	取組内容	15	② スポーツ教室や野外活動教室の開催	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>「ジュニアリーダー研修」 青少年の健全な育成を目的に、毎年「ジュニアリーダー研修」を実施しています。元々は、地域の子ども会で高学年の児童にグループを指導する力を身につけてほしいというリーダー養成を目的として、約30年前に、対象は小学5年生以上で始めました。令和2年度は小学5年生の第33期生が加わり、奈良県立野外活動センターでの宿泊研修等を予定しています。</p> <p>「子どもウォーキング」 平成29年度から「子どもウォーキング」を実施しています。上牧町スポーツ推進委員と協力し、自然にふれあいながらウォーキングを行っています。令和2年度は、京都府城陽市ロゴスランドで実施する予定です。</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
ジュニアリーダー研修	286	15	625		
子どもウォーキング	3	0	3		
合計	289	15	628	3年間累計	932

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	<p>「ジュニアリーダー研修」 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度ジュニアリーダー研修事業は中止しました。</p> <p>「子どもウォーキング」 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度子どもウォーキングは中止しました。</p>

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
野外での活動教室年間開催数	回	1	2	3	3 —	3

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①			実績（値）
	独自の指標②			実績（値）
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
「ジュニアリーダー研修」 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度ジュニアリーダー研修事業は中止しました。 「子どもウォーキング」 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度子どもウォーキングは中止しました。				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	「ジュニアリーダー研修」 小学校5年生で新規募集を行います。小学校卒業と同時に辞めてしまう子どもが多数います。近年は少子化傾向により、子ども会が縮小され、従来のリーダー養成についての評価が難しいですが、子どもが集団活動を経験することは、社会的意義が高く、社会的役割を担うような人物を養成するという働きもあると考えます。 「子どもウォーキング」 子どもが自主的に屋外で野外活動をすることが少ないので、保護者から求められています。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	「ジュニアリーダー研修」 子ども会が縮小された現在、地域のリーダーの養成という観点からは、工夫をして参加者を確保していくことが必要だと考えられます。 「子どもウォーキング」 ウォーキングだけでなく屋外で様々な体験ができるよう、スポーツ推進委員の協力を得ながら、創意工夫を図っていく余地があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見通し						
取組状況											
見通し											
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）									
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「ジュニアリーダー研修」 初級リーダー研修生以外に一般（小学4年生）に参加できる機会を設け、ジュニアリーダー研修を知ってもらう機会を設けます。また、中学生に進級して辞めてしまった生徒に再度ジュニアリーダーとして活動に参加してもらえないか募集をする予定です。									
2021年度（R03） 実施予定		「ジュニアリーダー研修」 全12回のうち2回程度を一般募集（小学4年生）し、事業実施上の安全管理面を十分検討した上で、ジュニアリーダー活動を知ってもらう機会を作ることを検討しています。研修プログラムに救急講習を取り入れ、実際に台風や地震等の自然災害が起こった時に地域の避難所で役立つ研修も実施予定です。また、歴史ガイドボランティア養成講座の受講生にジュニアリーダー研修時にガイド案内（片岡城跡）をしてもらい、郷土学習を実施する予定です。 「子どもウォーキング」 令和2年度の事業は中止しましたが、令和3年度についても、令和元年度参加者の意見を取り入れながら、継続して取り組んでいきます。									
指標（予定）		<table border="1"> <tr> <td>KPI</td> <td>野外での活動教室年間開催数</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	KPI	野外での活動教室年間開催数	3回	—			—		
KPI	野外での活動教室年間開催数	3回									
—											
—											

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	教育総務課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	50ページ
担当係	学校教育係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	① 地域による教育・子育て環境の充実		
	施策	⑥ 青少年の健全な育成		
	取組内容	16	③ キャリア教育の実施	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>【上牧中学校】 令和元年度に実施した内容を踏襲し、職業人を招いた講演会を生徒が受講した後に自ら新商品を企画したり顧客を増やしたりするための企画について立案・プレゼンテーションを行い、その内容について講師に講評していただくという内容を予定しています。また、新たな講師については、今後も探していきたいと考えます。</p> <p>【上牧第二中学校】 職業体験をすることにより、就労に関する幅広い知識や興味を獲得すると同時に、将来に向けた職業観の形成と意識改革を図ることを予定しています。また、職業体験実施前には職業人を講師として招いて仕事に関する講演会を開催したり、ビジネスマナーを学ぶ講習会を開催することも予定しております。新たな講師や職業体験先については、今後も探していきたいと考えます。</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考
事業費				
	合計	0	0	0

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	④計画を変更して実施した		
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	<p>【上牧中学校】 当初の予定通り実施しました。</p> <p>【上牧第二中学校】 当初予定していた職業体験が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となったため、県内医療機関の医師を講師として招いた講演会に変更となりました。</p>		

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
県内企業や地域との年間交流活動回数	回	1	2	2	3 2	3

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
<p>【上牧中学校】 職業人を講師とした講演会を開催し、118名の生徒が参加しました。生徒は、講演会を受講した後、自ら新商品を企画したり顧客を増やしたりするための企画について立案・プレゼンテーションを行い、その内容について講師に講評していただくという内容で、「主体的探究心と問題解決能力」「価値あるものを創造する力」「プレゼンテーション能力の向上」を生徒に身につけさせることによってキャリア形成を図ろうと考えました。講演会の名称は、「仕事のプロに学ぶ講演会」としました。プロの視点からの講評は具体的かつ的確であり、社会で働くことに係る課題や問題は、生徒が想定したものをはるかに超えるものであることを理解し、同時にやりがいや意義、奥深さ等も理解することができ、就労に関する理解と意欲の向上につながりました。</p> <p>【上牧第二中学校】 当初予定していた職業体験が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となり、県内医療機関の医師を講師として招いた生徒向けの講演会に変更して開催し、57名の生徒が参加しました。後日、講師へ向け生徒が感想文を作成することによって、自身が学習した内容を振り返る機会となり、将来に向けた職業観を形成する一助となりました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 キャリア教育の一環である本事業を通して、職業には多様な分野があることが理解できます。併せて、それぞれの職業に特色があることや、そこで働く人々の生の声を聴くことによって、その職業の素晴らしさや大変さ、やりがい等を知ることができます。特色には地域性も大きく関係していることから、キャリア教育と同時に地元・上牧（奈良）に対する愛着や誇りを持つきっかけとしても期待できると考えます。また、それまで漠然としていた職業観が、キャリア教育を通してより鮮明なものとなるのが推察されますので、数年後、生徒たちに訪れる職業選択の時に、判断基準の一つとして本体験学習の経験が生かされることを期待しています。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 事業は現状を維持しながら進めていくことが基本となりますが、学習内容をより充実・発展させるための見直しとして、講師や事業所の新規開拓が挙げられます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見通し	
取組状況						
見通し						
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）				
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 上牧中学校、上牧第二中学校それぞれが目指す教育目標や実情に合わせて、必要があれば随時内容の見直しを行い、柔軟に対応したいと考えます。上牧中学校においては講習会にて講習していただく講師の新規開拓、上牧第二中学校においては新型コロナウイルス感染症の動向も踏まえながら、講演会の検討・職場体験先の事業所の新規開拓について、可能性を模索します。				
2021年度（R03） 実施予定		<p>【上牧中学校】 令和2年度に実施した内容を踏襲し、職業人を招いた講演会を生徒が受講した後自ら新商品を企画したり顧客を増やしたりするための企画について立案・プレゼンテーションを行い、その内容について講師に講評していただくという内容を予定しています。また、新たな講師については、今後も探していきたいと考えます。</p> <p>【上牧第二中学校】 職業体験については新型コロナウイルス感染症の動向も踏まえながらの開催を検討し、就労に関しての幅広い知識や興味を獲得すると同時に、将来に向けた職業観の形成と意識改革を図ることを予定しています。また、職業体験実施前には職業人を講師として招いて仕事に関する講演会を開催したり、ビジネスマナーを学ぶ講習会を開催することも予定しています。新たな講師や職業体験先については、今後も探していきたいと考えます。</p>				
指標（予定）	KPI	県内企業や地域との年間交流活動回数	3回			
	—					
	—					
	—					

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	こども未来課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	51ページ
担当係	こども支援係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	② 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援		
	施策	① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援		
	取組内容	17	① 出会い・結婚応援事業の実施	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント等開催自粛により、町主催の婚活イベントは見通しが立ちませんが、マリッジサポーターの育成及び新規募集、月1回の結婚相談会は行う予定です。</p> <p>マリッジサポーターの育成及び新規募集：月1回定例会を開催し、年2回新規マリッジサポーターの養成講座を開催します。</p> <p>結婚相談窓口の開設：マリッジサポーターと協力NPO団体による結婚を考える男女またはその保護者を対象とした相談窓口を月1回、奇数月第4木曜日、偶数月第3土曜日に開設します。</p> <p>また、令和4年度には独立したマリッジ支援団体として活動して頂けるよう、自立に向けて様々な準備ができるように指導・助言を行います。</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
出会い・結婚応援事業	2,188	1,256	2,162		
合計	2,188	1,256	2,162	3年間累計	5,606

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した			
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
出会い・結婚応援事業による年間成婚数	組	—	—	3	3 1	3
結婚相談年間新規登録者数	人	—	17	15	20 7	20

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																																																					
	独自の指標①	実績（値）																																																																																																					
	独自の指標②	実績（値）																																																																																																					
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント等開催自粛により、町主催の婚活イベントは中止になりましたが、このコロナ禍の中でも何かできることはないかと定例会で意見を出し合い、マリッジサポーターの発案・デザインで、結婚相談会をPRするマスクケースを作製しました。また、同じデザインで車に貼るマグネットシールも作製し、町の巡回バス3台、公用車2台に貼付しています。同じく定例会で、令和4年度から独立したマリッジ支援団体になるためにNPO法人についての勉強会を複数回行い、独立についてじっくり考えることができたと考えます。 結婚相談窓口は毎月開設していましたが、新型コロナウイルスの影響で参加者は少なく、サポーターが登録者に個別に連絡を取り、相談会に呼んだり、相談会以外で相談に乗ったりすることで、相談者との信頼関係が途切れないようにサポートを続けました。 マリッジサポーター5期生の養成講座を11月と2月に行い、サポーターも一部の講座で講師を務めました。新たに1名の方にサポーターになって頂き、令和3年度は15名で活動して頂きます。 また、サポーターのこれまでの尽力により、昨年度の3組に引き続き、今年度も1組の成婚がありました。昨年度成婚されたカップルにベビーも誕生しています。以上のことから、概ね目標の成果が得られたと考えます。																																																																																																						
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																																																							
【結婚相談窓口開設曜日と相談件数】		【マリッジサポーター年度別推移表】																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="12">（単位：件）</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> <tr> <th></th> <th>土</th><th>木</th><th>土</th><th>木</th><th>土</th><th>木</th><th>土</th><th>祝</th><th>木</th><th>土</th><th>木</th><th>土</th><th>木</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R02</td> <td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>/</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>1</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>26</td> </tr> </tbody> </table>			（単位：件）												合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		土	木	土	木	土	木	土	祝	木	土	木	土	木	R02	0	0	4	0	0	0	0	/	1	1	0	2	2	10	R01	0	0	4	4	4	1	4	2	2	2	1	2	0	26	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5期生</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4期生</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3期生</td> <td>/</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>1・2期生</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			H29	H30	R01	R02	5期生	/	/	/	1	4期生	/	/	2	2	3期生	/	6	5	5	1・2期生	9	8	7	7	合計	9	14	14	15
	（単位：件）												合計																																																																																										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																											
	土	木	土	木	土	木	土	祝	木	土	木	土	木																																																																																										
R02	0	0	4	0	0	0	0	/	1	1	0	2	2	10																																																																																									
R01	0	0	4	4	4	1	4	2	2	2	1	2	0	26																																																																																									
	H29	H30	R01	R02																																																																																																			
5期生	/	/	/	1																																																																																																			
4期生	/	/	2	2																																																																																																			
3期生	/	6	5	5																																																																																																			
1・2期生	9	8	7	7																																																																																																			
合計	9	14	14	15																																																																																																			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																																																					
	評価の根拠及び理由 上牧町のマリッジサポーターの相談者へのフォローがしっかりと行われていること等が口コミで広がり、信頼も得られていると考えるので、ニーズは増加すると思えます。																																																																																																						
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																																																																																																					
	評価の根拠及び理由 令和2年度は婚活イベントが全く行えなかったため、登録者も増えず、改めてイベントが大切であることがわかりました。オンラインを活用することも必要ではないかと考えます。																																																																																																						

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>		取組状況		見通し						
取組状況												
見通し												
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）										
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 令和3年度のイベントはオンラインで行うことにします。										
2021年度（R03） 実施予定		新型コロナウイルス感染拡大予防のため、引き続き集客してのイベント開催は難しいと考え、令和3年度はZOOMを利用したオンライン婚活セミナーやオンライン婚活イベントを行う予定です。 また、令和4年度のNPO法人化に向けて、団体設立に関する指導・助言等を行うほか、サポーターに対してオンラインを活用するための研修を実施します。										
		指標（予定）	<table border="1"> <tr> <td>KPI</td> <td>出会い・結婚応援事業による年間成婚数</td> <td>3組</td> </tr> <tr> <td>KPI</td> <td>結婚相談年間新規登録者数</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	KPI	出会い・結婚応援事業による年間成婚数	3組	KPI	結婚相談年間新規登録者数	20人	-		
KPI	出会い・結婚応援事業による年間成婚数	3組										
KPI	結婚相談年間新規登録者数	20人										
-												

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	51ページ
担当係	子育て世代包括支援センター	関連部署			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	② 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援		
	施策	① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援		
	取組内容	18	② プレパパママ教室の開催	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>プレパパママ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し学べるように沐浴のポイントをまとめたビデオを作成します。 ・妊娠周数に応じた胎児や胎盤・子宮の大きさを胎児人形を活用し、より分かりやすく、楽しく学んでもらえるよう工夫します。 ・教室の日程増加や参加者の同窓会等、参加者同士の交流促進について取り組みます。 ・妊娠届提出時に専任助産師等が全件面接を行う中で、教室の魅力を伝え、参加動機を実施します。 ・母子健康手帳アプリの登録を勧奨し、随時配信等で周知を図ります。 ・教室参加者延べ人数については、50名を目標に勧奨を実施します。 ・アンケートの実施により、参加者のニーズを把握し、教室の内容の検討を図ります。 <p>新型コロナウイルス感染症予防対策として、3密（密集、密接、密閉）にならないように、会場を変更したり、マスクの着用や消毒等を徹底していきます。</p>			
独自の指標	指標①	プレパパママ教室参加者の内、夫の参加延べ人数	目標（値）	13人
	指標②	プレパパママ教室参加者延べ人数	目標（値）	50人

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考		
事業費	需用費	11	16	34		
	備品購入費	0	95	0		
	報酬	0	0	26		
合計	11	111	60	3年間累計	182	
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	③計画の内容に加え、別の取組も実施した				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	参加者に取り上げて欲しいテーマを伺い、要望の多かった内容について、新たに教室を追加し、実施しました。				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
パパの教室参加割合	%	—	—	18	20.0 20.7	22

18. プレパバママ教室の開催

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																														
	独自の指標①	プレパバママ教室参加者の内、夫の参加延べ人数	実績（値）	25人																																																												
	独自の指標②	プレパバママ教室参加者延べ人数	実績（値）	77人																																																												
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 「上牧町保健事業予定表」「広報 かんまき」「ホームページ」「母子健康手帳アプリ」に教室の開催を掲載することや、妊娠届提出時に全件、教室を担当する助産師や保健師等の専門職員が面接を行うなど、マタニティ教室への参加を促しています。また、妊娠中期から後期にかけて妊婦へ電話をかけることで様子を確認し、必要な支援を行う中で、教室の勧奨を実施しました。（妊娠届出件数は年間92件で前年度より微増で、出生数は平成30年118名、令和元年102名、令和2年82名と減少傾向がみられます。） 5月は緊急事態宣言中のため、教室は中止しましたが、6月以降は感染症対策を講じながら、参加人数によっては、多目的室といったより広い会場で実施するなど、3密にならないよう工夫し、11回開催しました。 令和2年度は参加者延べ人数の目標50名に対し77名（実48名）で目標達成しました。 （参考）参加者延べ人数経年実績：28名（H28）、35名（H29）、50名（H30）、47名（R元） また、夫の参加者延べ人数の目標13名に対し25名（実19名）であり、夫の参加率20.7%で目標達成しました。 教室で取り上げて欲しいテーマを伺い、要望の多かった内容について、新たに教室（C日程）を追加し4回実施しました。実施回数が多くなったこともあり、延べ人数が大幅に増加しました。 教室後に実施したアンケートでは、満足度は5段階評価で、A日程平均4.7、B日程4.9、C日程5.0であり、全日程ともに4.5以上であり、満足度の高い教室を実施できていると考えています。																																																															
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。 【参加人数】実人数48名（妊婦29名、夫19名）延べ人数77名（妊婦52名、夫25名）夫の参加率 20.7% （19名/妊娠届出数92件） <A日程> 【分娩、栄養の話】 参加人数 計23名 満足度平均4.7 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>妊婦</th> <th>夫</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/22（金）</td> <td colspan="3">新型コロナウイルス感染拡大のため中止</td> </tr> <tr> <td>7/17（金）</td> <td>6名</td> <td>0名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>11/20（金）</td> <td>10名</td> <td>4名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>1/22（金）</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table> <B日程> 【沐浴体験、妊婦体験、家事育児の負担】 参加人数 計40名 満足度平均4.9 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>妊婦</th> <th>夫</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/28（日）</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>9/8（火）</td> <td>6名</td> <td>3名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>12/6（日）</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>3/9（火）</td> <td>5名</td> <td>4名</td> <td>9名</td> </tr> </tbody> </table> <C日程> 【初産婦向けの産後の話】 参加人数 計14名 満足度平均5.0 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>妊婦</th> <th>夫</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/26（水）</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>10/28（水）</td> <td>3名</td> <td>0名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>12/24（木）</td> <td>4名</td> <td>2名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>2/25（木）</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>						妊婦	夫	計	5/22（金）	新型コロナウイルス感染拡大のため中止			7/17（金）	6名	0名	6名	11/20（金）	10名	4名	14名	1/22（金）	2名	1名	3名		妊婦	夫	計	6/28（日）	6名	5名	11名	9/8（火）	6名	3名	9名	12/6（日）	6名	5名	11名	3/9（火）	5名	4名	9名		妊婦	夫	計	8/26（水）	2名	0名	2名	10/28（水）	3名	0名	3名	12/24（木）	4名	2名	6名	2/25（木）	2名	1名	3名
	妊婦	夫	計																																																													
5/22（金）	新型コロナウイルス感染拡大のため中止																																																															
7/17（金）	6名	0名	6名																																																													
11/20（金）	10名	4名	14名																																																													
1/22（金）	2名	1名	3名																																																													
	妊婦	夫	計																																																													
6/28（日）	6名	5名	11名																																																													
9/8（火）	6名	3名	9名																																																													
12/6（日）	6名	5名	11名																																																													
3/9（火）	5名	4名	9名																																																													
	妊婦	夫	計																																																													
8/26（水）	2名	0名	2名																																																													
10/28（水）	3名	0名	3名																																																													
12/24（木）	4名	2名	6名																																																													
2/25（木）	2名	1名	3名																																																													
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																														
	評価の根拠及び理由 コロナ禍のため、出産病院では妊婦教室を中止している産院が多くなっています。感染症対策のため教室をリモートで開催することも検討し、教室参加者にニーズ調査を実施しました。その結果、対面での教室に参加したいとの声も多くみられたため、感染症対策を講じながら対面で開催しました。産院での妊婦教室が中止している今だからこそ、妊娠期の過ごし方・子育てに関する知識の習得や保健福祉サービスの情報を収集する場として、教室開催のニーズは高いと考えます。 また、夫と一緒に参加し、「育児体験や沐浴体験といった体験を通して、育児のイメージがわいた。また、妊婦体験をすることで妊婦の大変さがよくわかった。」との感想も多くありました。今後も、参加者のニーズに合った教室を展開していく必要があると思います。																																																															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																														
	評価の根拠及び理由 初めての妊娠の方だけでなく、経産婦の参加も多く、子どもがいても参加できるように、託児の必要性があると思います。また、今後も継続してアンケートを実施し、教室の満足度やニーズを把握したり、視覚教材等の媒体を使用することで、より満足度の高い教室を目指していきたいと思っています。																																																															

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見通し	
取組状況								
見通し								
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 子どもがいても参加できるように、保育士による託児を実施します。 視覚教材等を使用して、より質の高い教室を開催します。 教室の内容が多いため、ゆとりをもった時間設定にします。全日程120分間						
2021年度（R03） 実施予定		プレパバママ教室を毎月開催します。 A日程（4、7、10、1月）：妊婦体験、沐浴体験、育児の見える化ワーク等 B日程（5、8、11、2月）：助産師による分娩の話、母乳育児について、管理栄養士の妊娠中の食事について等 C日程（6、9、12、3月）：産前に聞いてほしい「産後」のお話、育児体験等（初産婦さん向け） 3回×年4セット 全日程9：30～11：30（A日程のうち2回は土日に開催） 妊娠届出時に、助産師等の専門職が教室参加勧奨を実施します。また、広報・ホームページ・母子健康手帳アプリ等で教室の周知を図ります。						
指標（予定）	KPI	パパの教室参加割合	22%					
	独自	プレパバママ教室の満足度（5段階評価）	4.5以上					
	独自	プレパバママ教室の参加者延べ人数	80名					
	—							

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	51ページ
担当係	健康増進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える			
	基本的方向	② 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援			
	施策	① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援			
	取組内容	19	③ 不妊・不育症治療助成制度の利用促進		
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）			
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）			
	説明 （⑤その他の場合）				
実施内容	事業の周知を図るため、広報、ホームページ、健診の場等で啓発をします。また、近隣の産婦人科にチラシやパンフレットの設置協力を依頼するなど周知します。 また、令和元年度に引き続き、令和2年度においてもアンケートを実施し、周知状況の確認を行います。				
独自の指標	指標①		目標（値）		
	指標②		目標（値）		

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考		
事業費	扶助費	863	1,074	1,900		
	需用費	0	1	0		
合計	863	1,075	1,900	3年間累計	3,838	
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）					

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
事業認知度	%	—	—	31	40.0 53.6	55

19. 不妊・不育症治療助成制度の利用促進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																			
	独自の指標①	実績（値）																			
	独自の指標②	実績（値）																			
	●事業の分析（評価の根拠・理由）	4/7～7/15で、乳幼児健診、乳幼児相談、プレバパママ教室に来られた方を対象にアンケートを実施し、知っていると回答した人は82名で56.2%でした。ただし、同じ回答者が含まれている可能性があり、正確な結果がでないと考えられたため、改めて10/1以降は妊娠届出に来られた妊婦を対象にアンケートを実施しました。回答数50名のうち知っていると回答した人は23名で46%であり目標を達成しました。 不妊治療費助成申請件数は15件、不育治療費助成申請件数は2件であり、令和元年度と比べて横ばいでした。9月広報に折込チラシを入れ周知を図りました。また、出産施設である林産婦人科五位堂医院と不妊治療施設（ミズクリニックメイン）へ助成案内のパンフレットを配布し周知を図りました。 平成28年度に助成を開始してから、不妊治療費助成申請者から8人、不育症治療費助成申請者から3人の出生がありました。また、令和2年度に不妊・不育治療助成申請者のうち7名が妊娠されました。																			
達成度	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。	【アンケート実施時間】4/7～7/15 【対象者】乳幼児健診、乳幼児相談、プレバパママ教室に来られた方 【アンケート結果】 知っている（よく知っている、名前だけ知っている）・・・ 82名（56.2%） 知らない・・・ 63名（43.2%） その他・・・ 1名（0.7%） 【アンケート実施時間】10/1～3/31 【対象者】妊娠届出に来られた方 【アンケート結果】 知っている（よく知っている、名前だけ知っている）・・・ 23名（46%） 知らない・・・ 27名（54%）																			
		【助成制度の認知度】																			
		<何で知ったか？>複数回答 <table border="1"> <tr><td>広報</td><td>42人</td></tr> <tr><td>ホームページ</td><td>18人</td></tr> <tr><td>子育て支援ガイドブック</td><td>9人</td></tr> <tr><td>ポスター</td><td>1人</td></tr> <tr><td>ぼーぶるママ</td><td>0人</td></tr> <tr><td>母子健康手帳アプリ</td><td>0人</td></tr> <tr><td>その他</td><td>8人</td></tr> </table>			広報	42人	ホームページ	18人	子育て支援ガイドブック	9人	ポスター	1人	ぼーぶるママ	0人	母子健康手帳アプリ	0人	その他	8人			
	広報	42人																			
ホームページ	18人																				
子育て支援ガイドブック	9人																				
ポスター	1人																				
ぼーぶるママ	0人																				
母子健康手帳アプリ	0人																				
その他	8人																				
	【申請件数】（単位：件） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不妊治療</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>不育症治療</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>				H28	H29	H30	R01	R02	不妊治療	3	8	9	15	15	不育症治療	1	3	2	1	2
	H28	H29	H30	R01	R02																
不妊治療	3	8	9	15	15																
不育症治療	1	3	2	1	2																
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																			
	評価の根拠及び理由	厚生労働省の発表によると、日本では、夫婦全体の約5.5組に1組の割合で、不妊の検査や治療を受けた（または現在受けている）ことがあると言われています。また、不妊を心配したことがある夫婦は35.0%であり、夫婦全体の約2.9組に1組の割合と言われています。また、令和3年から特定不妊治療費助成の所得制限が撤廃されたこともあり、国として、不妊治療に悩む夫婦に対して経済的支援を促進しています。本町も、特定不妊治療にステップアップするまでの、一般不妊治療の治療費にかかる経済的支援はニーズが高いと考えられます。																			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																			
	評価の根拠及び理由	事業に関する認知度は増加し、不妊・不育治療が必要な方も増加していくことが考えられます。一人でも多く不妊・不育に困っている方に利用してもらうために、知ったきっかけが一番多かった「広報」について、これまで年2回の掲載を3回に増やして周知します。今後も広報、ホームページ、健診の場等で啓発するほか、個別に周知できるように近隣の産婦人科でのチラシ、ポスター掲示を継続します。令和3年度からは、所得制限が撤廃となるため、早期に広報等において周知を図ります。また、就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育症治療助成事業のチラシを同封して周知を図ります。 不妊治療について助成制度を利用された方、相談される方へニーズ調査を実施し、補助金の増額や助成期間の延長等の事業内容について検討をしていく必要があります。																			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見通し	
	取組状況				
見通し					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）				
2021年度（R03） 実施予定	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 令和3年度から所得制限が撤廃されたため、広報やホームページ等で再度周知を図りたいと思います。また、認知度を把握するために継続的にアンケートを実施していきます。就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、チラシを同封して周知を図ります。 不妊治療について助成制度を利用された方、相談される方へニーズ調査を実施し、補助金の増額や助成期間の延長等の事業内容について検討をしていく必要があります。				
	引き続き、広報やホームページ等で事業の周知を行っていきます。 妊娠届出時に、認知度アンケートを実施し、助成制度を知らない方には案内します。 不妊治療について助成制度を利用された方、相談される方へニーズ調査を実施します。				
指標（予定）	KPI	事業認知度	55%		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	51ページ
担当係		関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える			
	基本的方向	② 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援			
	施策	② 子育ての希望を叶えるための支援			
	取組内容	20	① 乳児・幼児健診受診の促進		
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）			
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）			
	説明 （⑤その他の場合）				
実施内容	<p>・乳児・幼児健診の実施 経過観察が必要な方には後日連絡を行い、状況を確認します。未受診者に対する支援として、電話やハガキで次回実施日への受診勧奨を実施します。それでも最終的に受診できなかった場合、家庭訪問または所属している保育園等へ訪問し、直接お子さんの健康状態や育児状況を概ね把握します。また、検診については、新型コロナウイルス感染対策を行うとともに、各健診において満足度調査を継続します。</p> <p>・健診体制の見直し（必要に応じて2診体制・健診日の増加）やスタッフ数の調整</p> <p>・当日の受診者の滞在時間の短縮・3密を避けるために、事前問診や計測の実施、受付時間を細かく区切って少人数ずつの案内、消毒や換気の徹底</p> <p>・健診を適切な時期に受けていただくよう周知（厚生労働省作成のリーフレットを利用して、保育所や幼稚園を通じて保護者に配布やポスター掲示）</p>				
独自の指標	指標①		目標（値）		
	指標②		目標（値）		

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考		
事業費	賃金	344	347	348		
	報償費	860	1,083	1,130		
	役員費	72	101	125		
	需用費	104	190	134		
	合計	1,380	1,721	1,737	3年間累計	4,838
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）					

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
乳児健診受診率	%	99.0	96.5	96.8	100.0 95.5	100.0
幼児健診受診率	%	93.5	90.0	94.3	98.0 89.7	98.0

20. 乳児・幼児健診受診の促進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																			
	独自の指標①			実績（値）																																			
	独自の指標②			実績（値）																																			
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で受診を控える方がいたため、受診率については乳児健診・幼児健診とも目標値に届きませんでした。乳児健診について、前年度と比較して3か月児健診（96.5%→94.6%）、10か月児健診（97.2%→97.6%）と横ばいもしくは受診率が低下しています。</p> <p>また、幼児健診について、1歳8か月児健診では（95.9%→91.7%）、3歳児健診では（94.3%→88.2%）とともに低下しています。未受診の方については、健診時外国居住、就園している、保護者の多忙、時間が合わない、医療機関でフォロー中等の理由が挙げられています。最終的に受診できなかった幼児については、家庭訪問、来所面接、所属している保育所等で直接健康状態等の確認を実施しています。</p> <p>虐待が疑われるケースについては、要保護児童対策地域協議会に報告し、各関係機関と情報連携しながら見守り等の対応を継続しています。</p>																																						
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">【健診受診率】</th> <th colspan="3">(単位：%)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3か月児健康診査</td> <td>98.4</td> <td>96.5</td> <td>94.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10か月児健康診査</td> <td>94.3</td> <td>97.2</td> <td>97.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1歳8か月児健康診査</td> <td>92.2</td> <td>95.9</td> <td>91.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3歳児健康診査</td> <td>88.8</td> <td>94.3</td> <td>88.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2歳児歯科検診</td> <td>78.0</td> <td>77.5</td> <td>77.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					【健診受診率】		(単位：%)				H30	R01	R02		3か月児健康診査	98.4	96.5	94.6		10か月児健康診査	94.3	97.2	97.6		1歳8か月児健康診査	92.2	95.9	91.7		3歳児健康診査	88.8	94.3	88.2		2歳児歯科検診	78.0	77.5	77.7	
【健診受診率】		(単位：%)																																					
	H30	R01	R02																																				
3か月児健康診査	98.4	96.5	94.6																																				
10か月児健康診査	94.3	97.2	97.6																																				
1歳8か月児健康診査	92.2	95.9	91.7																																				
3歳児健康診査	88.8	94.3	88.2																																				
2歳児歯科検診	78.0	77.5	77.7																																				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																			
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>少子化や保護者の就労の増加に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域でのつながりが薄れてきています。健診は異常の早期発見の場となるだけでなく、情報提供や交流の重要な場になっていると考えられるので、新型コロナウイルスの感染対策も講じながら、継続的に実施していく必要があると考えます。</p>																																						
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																			
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>受診率向上に向けて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心・安全に健診を受診していただけるよう保護者の方にさらに周知していく必要があると考えます。町内の保育所や幼稚園等と連携を図り、ポスター掲示による健診日等の周知を行うなど、受診を勧めていく体制づくりを行っていきます。また、満足度についてアンケートを行い、ニーズに応じて実施方法の見直しを行っていきます。</p>																																						

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見直し	
取組状況								
見直し								
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 乳児健診受診率100%、幼児健診受診率98%を目標に新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心・安全に健診を受診していただけるよう保護者の方にさらに周知していく必要があると考えます。また、満足度調査を行い、その結果をもとに健診内容を見直していきます。						
2021年度（R03） 実施予定		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた乳児・幼児健診の実施 経過観察が必要な方には後日連絡を行い、状況を確認します。未受診者に対する支援として、電話やハガキで次回実施日への受診勧奨を実施します。それでも最終的に受診できなかった場合、家庭訪問または所属している保育園等へ訪問し、直接お子さんの健康状態や育児状況を概ね把握します。また、検診については、新型コロナウイルス感染対策を行うとともに、各健診において満足度調査を継続します。 ・健診体制の見直し（必要に応じて2診体制・健診日の増加）やスタッフ数の調整 ・当日の受診者の滞在時間の短縮・3密を避けるために、事前問診や計測の実施、受付時間を細かく区切って少人数ずつの案内、消毒や換気の徹底 ・健診を適切な時期に受けていただくよう周知（厚生労働省作成のリーフレットを利用して、保育所や幼稚園を通じて保護者に配布やポスター掲示） 						
		指標（予定）	KPI	乳児健診受診率	100%			
			KPI	幼児健診受診率	98.0%			
			—					

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	生き活き対策課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	51ページ
担当係	子育て世代包括支援センター	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	② 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援		
	施策	② 子育ての希望を叶えるための支援		
	取組内容	21	② 子育て世代への訪問型個別支援の拡充	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、感染防止策を十分に講じ、安全安心な家庭訪問について検討します。 子育て世代包括支援センターが、妊娠届出提出時の全件面接・カウンセリングを行い、妊娠期からの切れ目のない細やかな支援に向けて、地区担当の保健師と連携して、継続した訪問・電話等の支援を行います。 助産師と地区担当の保健師が、出産後の家庭訪問を全件実施し、新生児等の育児について発育、栄養、衣服、生活環境、疾病予防に関すること（保護者に対する問診、新生児の観察等を行い異常又は疾病の発見並びに早期治療を受けることの指導、助言含む）等全般に指導、助言や子育てに関する情報提供を行います。また、保護者の健康管理について、指導・助言を行います。 赤ちゃん訪問記念品（育児カタログギフト）と、おむつ排出用ごみ袋を訪問家庭に贈呈します。</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	需用費	30	26	24	
	報償費	0	317	377	
合計	30	343	401	3年間累計	774

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
赤ちゃん訪問実施率	%	—	99	97	100 98	100

21. 子育て世代への訪問型個別支援の拡充

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>新型コロナウイルス感染症の流行により、訪問を拒否される方がいたため実施率が100%に至りませんでしたが、子育て世代包括支援センターが、妊娠届出提出時の全件面接・カウンセリングを行い、妊娠期からの切れ目のない細やかな支援に向けて、地区担当の保健師と連携して、継続した訪問・電話等の支援を行いました。産後2週間程度で出生した家庭全てに電話で母子、家族の健康状態の把握を行い、訪問を希望される方は産後2か月までに家庭訪問を行いました。助産師と地区担当保健師が全戸訪問を行うとしていましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、産後2週間において電話等で要支援と判断した対象者のみ地区担当保健師と2人体制で訪問し、必要な情報提供（カタログギフトの贈呈やごみ袋の配布等）や支援につなげることができました。訪問拒否の理由は、新型コロナウイルス感染症流行のためでその他の理由はありませんでした。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
<p>訪問数 87件 訪問拒否 2件（理由：新型コロナウイルス感染症流行のため） →1件は電話にて様子確認し母子保健事業等の情報提供を行い、1件は来所してもらい、児の身体計測や母子保健事業等の情報提供を行いました。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
<p>新型コロナウイルス感染症の流行により孤立化する家庭が増えており、様々な情報が錯綜している中で、子育てに対し不安を抱えている方が多いと考えられます。妊娠中から全対象者と関わり、赤ちゃん訪問を全戸訪問として実施することで、家庭環境を把握することができ、より個々に応じた育児支援につなげると考えられます。</p>				
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
<p>新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、感染防止策を十分に講じ、安全安心な家庭訪問について検討します。訪問を拒否する母親に対しては、理由を明らかにし、個々に応じた支援を行っていきたいと思います。また、赤ちゃん訪問に関する匿名のアンケートを実施し、訪問内容やプレゼントの内容等を検討し、赤ちゃん訪問実施率100%を目指します。</p>				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 50px;">取組状況</td> <td style="width: 300px;"></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見通し	
取組状況								
見通し								
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、感染防止策を十分に講じ、安全安心な家庭訪問について検討します。訪問を拒否する母親に対しては、理由を明らかにし、個々に応じた支援を行っていきたいと思います。また、赤ちゃん訪問に関する匿名のアンケートを実施し、訪問内容や記念品の内容等を検討し、赤ちゃん訪問実施率100%を目指します。						
2021年度（R03） 実施予定		令和3年度からは、こども未来課こども総合相談係で実施します。 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、感染防止策を十分に講じ、安全安心な家庭訪問について検討します。 子育て世代包括支援センターが、妊娠届出提出時の全件面接・カウンセリングを行い、妊娠期からの切れ目のない細やかな支援に向けて、地区担当の保健師と連携して、継続した訪問・電話等の支援を行います。 助産師と地区担当の保健師が、出産後の家庭訪問を実施し、新生児等の育児について発育、栄養、衣服、生活環境、疾病予防に関すること（保護者に対する問診、新生児の観察等を行い異常又は疾病の発見並びに早期治療を受けることの指導、助言含む）等全般に指導、助言や子育てに関する情報提供を行います。また、保護者の健康管理について、指導、助言を行います。 赤ちゃん訪問記念品（育児カタログギフト）と、おむつ排出用ごみ袋訪問家庭に贈呈します。 赤ちゃん訪問に関する匿名のアンケートから、訪問内容や記念品の内容等を検討します。						
指標（予定）	KPI	赤ちゃん訪問実施率		100%				
	独自	訪問者の対応に対する満足度		4.5				
	—							
	—							

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	こども未来課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	51ページ
担当係	こども支援係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	① 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える		
	基本的方向	② 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援		
	施策	② 子育ての希望を叶えるための支援		
	取組内容	22	③ 子育て支援セミナーの開催	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	保護者の子育てを応援するため、乳幼児の健康や育児等について生き活き対策課等と連携を図り、子育て中の保護者を対象に保健師・助産師による子育て支援セミナーを開催し、子育て支援の充実を図ります。 ただ、新型コロナウイルス感染症の状況を見定めて、開催の判断をしたいと考えます。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費					
合計	0	0	0	3年間累計	0
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった			
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント等開催自粛のためあらゆるイベントが中止になり、子育て支援セミナーも開催することができませんでした。			

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
セミナー年間参加者数（延べ人数）	人	—	—	37	40 —	40

22. 子育て支援セミナーの開催

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 有志住民主催によるイベントにおいて、子育て中の保護者や子どもを対象に、保育士による大型紙芝居を使った子どもにもわかりやすい防犯、防災をテーマとした子育て支援セミナーを計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント等開催自粛のため、開催することができませんでした。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 新型コロナウイルス感染拡大予防による自粛、核家族化の進行や共働き世帯の増加等により、ニーズは増加すると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 大きく集客しての開催を考えると新型コロナウイルス感染拡大予防のため難しいと考えます。保護者の子育てを応援するため、少人数を対象として開催することや、ZOOM（ズーム）、ホームページ、Facebook、YouTube等を活用したオンラインでのセミナー開催について検討する必要があると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">取組状況</td> <td style="width: 200px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">見直し</td> <td style="border-top: 1px dashed black; height: 20px;"></td> </tr> </table>				取組状況		見直し	
取組状況								
見直し								
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルス感染拡大予防のため大きく集客しての開催が困難な場合は、乳幼児健診の帰りに立ち寄って参加してもらえるような小規模な催しを計画したり、ZOOM（ズーム）、ホームページ、Facebook、YouTube等を活用したオンラインでのセミナー開催についても検討していきます。						
2021年度（R03） 実施予定	子育て中の保護者やこれからお父さんお母さんになる人を対象に、保健師・助産師による子育て支援セミナーの開催を目指して準備を進めますが、新型コロナウイルス感染症の状況を見定めて、ZOOM（ズーム）、ホームページ、Facebook、YouTube等を活用したオンラインでのセミナー開催についても検討します。							
	指標（予定）	KPI	セミナー年間参加者数（延べ人数）	40人				
		—						
		—						
		—						

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	まちづくり推進課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	52ページ
担当係	都市計画係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	② 上牧町への新しい人の流れをつくる		
	基本的方向	① 既存ストックの利活用促進		
	施策	① 空き家活用プロジェクト		
	取組内容	23	① 空き家利活用の推進	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）	事業実施に向けた取組の推進		
実施内容	特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュと共同で「空き家セミナー・相談会」を開催します。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
空き家相談窓口・空き家バンク支援業務委託料	0	0	347		
合計	0	0	347	3年間累計	347

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
空き家・空き地バンク登録件数（累計）	件	—	—	4	10 3	15

23. 空き家利活用の推進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュと共同で「空き家セミナー・相談会」の開催しました。（広陵町と隔年で開催場所を移しています。令和2年度は広陵町で開催）しかし、空き家・空き地バンク登録件数が規定件数に達しませんでした。 ・令和2年度空き家セミナー・相談会参加者 4名（うち上牧町民参加者0名）</p>			
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>少子高齢化の進展に伴い、今後も空き家件数は増加していくことが見込まれるため、空き家の管理・利活用に関する情報発信やマッチングを含め、幅広い支援を求めるニーズは増加してくると考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>空き家バンクの登録件数の増加のための取組は必要ですが、空き家バンク運営のみにとらわれず、多方面に渡る空き家問題に対し、包括的に取り組む必要があります。 空き家・空き地バンク情報等のインターネット情報を広報に掲載していきます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見通し	
取組状況								
見通し								
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 空き家問題の分野は多岐に渡るため、関係各課と連携を図りながら、空き家問題の取組に詳しい特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュの知恵を借りることで、空き家対策に取り組んでいく必要があります。 空き家所有者に対して空き家について考える機会を増やすため、空き家・空き地バンク情報の紹介や空き家コンシェルジュへの相談窓口案内等を広報にてお知らせしていくことを検討していきます。						
2021年度（R03） 実施予定		<p>住民に広く空き家の利活用についての見識を深めるため、今後も特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュに協力していただき、空き家相談会の開催を継続します。 空き家バンクや空き家相談会の情報を空き家所有者へ訴求できる方法として税務課の協力のもと、固定資産税請求時に案内を送ります。また、空き家実態調査時に行ったアンケートにより判明した利活用に興味を示されている空き家所有者に対しても案内状の送付を考えていきます。また、不動産流通に乗らないような空き家についても、先進的な取組を行っている空き家コンシェルジュと連携することで解決できるよう検討していきます。 町内空き家の実態を調査し、所有者に対して空き家の今後の方向性を確認してもらいます。その調査実施に伴い、各自治会にて保有している空き家情報の提供依頼も実施します。また、空き家情報等を広報にて掲載していくことを検討していきます。</p>						
		KPI	空き家・空き地バンク登録件数（累計）	10件				
		指標（予定）	—					
			—					
			—					

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	企画財政課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	52ページ
担当係	総合企画係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	② 上牧町への新しい人の流れをつくる		
	基本的方向	① 既存ストックの利活用促進		
	施策	② UR住宅の活用による移住・定住促進		
	取組内容	24	① UR住宅の活用及び入居促進	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	少子高齢化に伴う入居者の減少が進行している「UR西大和片岡台」について、地域のニーズに沿った都市構造の再構築にあたり、若者世帯の転入促進に向けて、UR都市機構と上牧町による協議の場を設け、上牧町の目指す将来像の実現を目指します。 令和2年度については、UR都市機構が実施する新型コロナウイルス感染症関連支援策（入居制度の拡充）について、関連部局を通して事業の周知を行うなど、UR都市機構が行う事業のサポートについても実施していく予定です。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考
事業費				
合計	0	0	0	3年間累計 0

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
UR住宅における年間転入者数	人	91	79	103	110 110	110

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった														
	独自の指標①			実績（値）														
	独自の指標②			実績（値）														
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>UR都市機構との協議においては、令和3年度に策定する総合計画や総合戦略における、URとの取組の位置づけなどについての議論が中心となり、入居促進に関して、他自治体で実施していることの横展開などについて要望しましたが、新型コロナウイルス感染症関連支援策（入居制度の拡充）や既存の割引サービスの紹介にとどまり、進展はありませんでした。また、令和元年度から連携している「地域医療福祉拠点化の推進」について、西大和片岡台地における生活支援アドバイザー（※）の新規配置に向けた取組が進められる予定でしたが、令和2年度は実現に至りませんでした。</p> <p>（※）生活支援アドバイザーとは 高齢者の見守り・生活相談・交流促進を行うとともに、日頃から高齢者と地域関係者をつなぐ役割を担います。</p> <p>【UR都市機構との勉強会】 平成29年度 … 1回（UR都市機構の計画・方針の確認、UR西大和片岡台の課題の共有等） 平成30年度 … 5回（連携内容についての協議等） 令和元年度 … 3回（「地域医療福祉拠点化の推進」に係る調整、施設改修（リノベーション、外壁塗装等）方針の確認等） 令和2年度 … 3回（新型コロナウイルス感染症関連支援策の情報提供、既存サービス・事例紹介、総合計画の策定方針・スケジュール確認等）</p> <p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>																	
<p style="text-align: center;">UR住宅年間転入者数 （単位：人）</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption>UR住宅年間転入者数 (単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>転入者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>					年度	転入者数	H27	96	H28	93	H29	75	H30	79	R1	103	R2	110
年度	転入者数																	
H27	96																	
H28	93																	
H29	75																	
H30	79																	
R1	103																	
R2	110																	
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある														
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>UR西大和片岡台については、今後も人口減少が深刻化していくことが予想されており、今後の活用や入居促進について、UR都市機構と行政間での具体的な協議・取組を望む住民は増えています。</p>																	
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない														
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>若者の移住・定住促進につながる取組として、リノベーションやDIYに対する支援制度等、若者に好まれる環境整備の支援が考えられますが、協議が進展していない状況です。UR都市機構との連携で類似の支援を実施している他団体に、どのような方法（費用負担等）で実現できたのかなどについてヒアリングを行うなど、今後も引き続き情報収集を行いながら、UR都市機構との協議を継続していきたいと考えます。</p>																	

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">取組状況</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">見通し</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> </table>	取組状況		見通し									
取組状況														
見通し														
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）												
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） UR都市機構との連携で類似の支援を実施している他団体にヒアリングを行うなど、今後も引き続き実現に向けた情報収集を行いながら、UR都市機構との協議を継続していきたいと考えます。												
2021年度（R03） 実施予定		<p>引き続きUR都市機構と連携し、「地域医療福祉拠点化の推進」以外の事業についても連携の可能性について協議を行うとともに、入居促進の取組として、UR西大和片岡台の整備方針を踏まえて、UR都市機構と相談しながら啓発活動やリノベーションに関する要望等を行う予定です。また、総合計画（後期基本計画）の策定にあたり、UR都市機構との連携によるまちづくりにおいて、実現可能な取組内容（目標）についても協議を行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td>指標（予定）</td> <td>KPI</td> <td>UR住宅における年間転入者数</td> <td>110人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標（予定）	KPI	UR住宅における年間転入者数	110人		—				—		
指標（予定）	KPI	UR住宅における年間転入者数	110人											
	—													
	—													

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	まちづくり推進課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	53ページ
担当係		関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	② 上牧町への新しい人の流れをつくる		
	基本的方向	② 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上		
	施策	① 公共交通の利便性向上		
	取組内容	25	① 上牧町交通網対策検討会の開催	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	④未実施		
	2020年度（R02）実施予定	②実施する（開始）		
実施内容	説明 （⑤その他の場合）			
	上牧町交通網対策検討会議を開催します。 公共交通（民間バス）において、バス停の利便性向上に向けた取組として、ベンチ及び屋根等の設置における指針の取りまとめを行い、その指針に従いベンチの設置を行います。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度		2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費						
	合計	0	0	0	3年間累計	0
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	上牧町交通網対策検討会議を開催するにあたり、課題を整理し十分な議題を準備することができなかったため、実施できませんでした。				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
上牧町交通網対策検討会の年間開催数	回	—	—	—	2 —	2

25. 上牧町交通網対策検討会の開催

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 上牧町交通網対策検討会議を開催するにあたり、課題を整理し十分な議題を準備することができなかつたため、実施できませんでした。 公共交通（民間バス）において、バス停の利便性向上に向けた取組として、ベンチ及び屋根等の設置における指針の取りまとめを行い、その指針に従いベンチを2箇所設置しました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 高齢化の進展に伴い、公共交通に対する依存度は高まっていくと考えられます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 上牧町交通網対策検討会議の開催に向けて、公共交通への課題やニーズを整理し、検討会議で諮問する施策について検討していく必要があります。 鉄道駅がない本町において、民間バスの運行は不可欠であります。その中で、公共交通の利便性の向上に向けた取組の一環としてバス停における環境整備をいかに形成していくかが重要な課題となってきます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input type="checkbox"/> 実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td>事業実施の目的は立っていない</td> </tr> </table>			取組状況	未実施	見直し	事業実施の目的は立っていない
取組状況	未実施							
見直し	事業実施の目的は立っていない							
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズに応えるためにどのような対策を講じるべきかについての課題の洗い出しを行い、上牧町交通網対策検討会議へ諮問していきます。						
2021年度（R03） 実施予定		上牧町交通網対策検討会議の開催を目指して、他市町村の先進事例を収集し、会議設置規則の制定に向けて研究を行います。また、上牧町の公共交通問題について関係各課に検討して頂く場として内部検討会の開催を考えていきます。 公共交通（民間バス）において、バス停の利便性向上に向けた取組として、ベンチ及び屋根等の設置における指針に従いベンチを3箇所設置予定しています。						
指標（予定）	独自	上牧町交通網対策内部検討会の年間開催数		1回				
	—							
	—							
	—							

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	総務課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	53ページ
担当係		関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	② 上牧町への新しい人の流れをつくる			
	基本的方向	② 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上			
	施策	① 公共交通の利便性向上			
	取組内容	26	② コミュニティバスの利用促進		
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）			
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）			
	説明 （⑤その他の場合）				
実施内容	町民の方々からいただいた、巡回バスの運行に関する要望、ご意見等を検討課題とし、利便性の向上を目的に、調整等を行います。令和元年度にコミュニティバスの時刻表及びバス停の設置更新を行い、令和2年4月から3台体制、新ルートによる運行を開始します。				
独自の指標	指標①		目標（値）		
	指標②		目標（値）		

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度		2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	コミュニティバス運行費	17,836	19,777	17,525		
合計		17,836	19,777	17,525	3年間累計	55,138
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）					

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
コミュニティバスの年間利用者数（延べ人数）	人	45,130	50,000	49,697	51,500 42,699	52,000

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった										
	独自の指標①		実績（値）											
	独自の指標②		実績（値）											
●事業の分析（評価の根拠・理由）														
<p>令和2年4月から3台体制（バガサス号・ささゆり号・ほほ笑み号）、新ルートによる運行を開始しました。運転手の名札の着用を義務化しました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の一環として、運転席と客席の間に飛沫防止用ビニールシートを設置しました。利用者数の実績については、前年度と比較し減少しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に伴う、不要不急の外出が控えられたことが原因と考えられます。</p>														
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。														
<p>【コミュニティバスの年間利用者数（延べ人数）】</p> <table border="1"> <caption>コミュニティバスの年間利用者数（延べ人数）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数（延べ人数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>48,700</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>50,541</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>49,694</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>42,699</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度及び令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により減少したと考えられます。</p>					年度	利用者数（延べ人数）	H29	48,700	H30	50,541	R01	49,694	R02	42,699
年度	利用者数（延べ人数）													
H29	48,700													
H30	50,541													
R01	49,694													
R02	42,699													
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある										
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢者の増加に伴い、町内を移動できる手段の確保は急務です。路線バスとコミュニティバスの共存を進め、交通弱者の一助になるよう、より良い環境整備を進める必要があります。</p>													
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない										
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>コミュニティバスの運行の中で、運転技術、事故後の対応等様々な課題が発生しており、次回の改訂に向けて情報収集等を行うと同時に、シルバー人材センターと協議の上、運用マニュアルの作成を検討する必要があると考えます。また、コロナ禍にあっても引き続き運行を継続していることから、感染防止対策を十分に行う必要があると考えます。</p>													

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見通し										
取組状況															
見通し															
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）													
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） コミュニティバスの運行の中で、運転技術、事故後の対応等様々な課題が発生しており、次回の改訂に向けて情報収集等を行うと同時に、シルバー人材センターと協議の上、運用マニュアルの作成を検討する必要があると考えます。													
2021年度（R03） 実施予定		<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の一環として、有効的な対策の情報収集に努め、日々の消毒を実施します。また、運行中に生じる様々な課題に対し、改善策等を検討していきます。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">指標（予定）</td> <td>KPI</td> <td>コミュニティバスの年間利用者数（延べ人数）</td> <td>52,000人</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標（予定）	KPI	コミュニティバスの年間利用者数（延べ人数）	52,000人	—			—			—		
指標（予定）	KPI	コミュニティバスの年間利用者数（延べ人数）		52,000人											
	—														
	—														
	—														

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	まちづくり推進課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	53ページ
担当係	地域活性化係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	② 上牧町への新しい人の流れをつくる		
	基本的方向	② 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上		
	施策	② 関係人口・交流人口の創出		
	取組内容	27	① 観光プログラムの企画・周知・運営	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	④未実施		
	2020年度（R02）実施予定	④実施しない		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	※滝川整備事業の完了に合わせた事業開始を検討していることから、令和2年度については事業の実施を予定していません。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費					
合計	0	0	0	3年間累計	0

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
まちあるきツアー年間開催数	回	—	—	—	— —	1

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 滝川整備事業の完了に合わせた事業開始を検討していることから、令和2年度については事業の実施はありませんでしたが、それまでの間は他の代替事業を企画する必要があると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input type="checkbox"/> 実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 未実施 → 取組状況 未実施 見直し 事業実施の目的は立っていない		
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 滝川整備事業の完了に合わせた事業開始を検討していることから、令和2年度につきましては事業実施はありませんでしたが、それまでの間は他の代替事業を企画する必要があると考えます。		
2021年度（R03） 実施予定		滝川整備事業の完了に合わせた事業開始を検討していることから、令和3年度についても事業の実施は予定していませんが、これに代わる事業として、上牧町、王寺町、広陵町、河合町を巡りながら「馬見丘陵公園」を目指すウォーキングイベントを王寺町、広陵町、河合町、中和公園事務所と協議し企画、運営します。		
指標（予定）	独自	ウォーキングイベント開催数		1回
	—			
	—			
	—			

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	企画財政課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	53ページ
担当係	総合企画係	関連部局	社会教育課		

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	② 上牧町への新しい人の流れをつくる			
	基本的方向	② 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上			
	施策	② 関係人口・交流人口の創出			
	取組内容	28	② イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施		
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）			
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）			
実施内容	説明 (⑤その他の場合)				
	<p>上牧町の魅力をPRするイベントとして、ペガサスフェスタを開催します。開催にあたっては、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、イベント実施の判断を行い、実施できなかった場合は、新型コロナウイルス感染防止対策を含めたイベント運営の見直しやコンテンツの検討を行うなど、令和3年度の開催に向けた準備を進める予定です。</p> <p>北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ！事業」では、移住促進を目的としたプロモーション活動を推進しており、令和2年度は、既存作成物を活用したPR活動に加え、魅力発信強化を目的として、「すむ・奈良・ほっかつ！事業」で構築したホームページ（以下、「北葛城ホームページ」）内において、各町のイベント情報を掲載できる新規ページの作成を行います。また、事業開始から4年が経過していることもあり、総合的な効果検証も踏まえ、今後の取組の方向性について検討していきます。</p>				
独自の指標	指標①		目標（値）		
	指標②		目標（値）		

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
ペガサスフェスタ	3,384	18	4,878		
すむ・奈良・ほっかつ！事業	2,000	325	250		
合計	5,384	343	5,128	3年間累計	10,855

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した			
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
プロモーション活動の認知度	%	—	46.5	48.1	48.0 50.6	50

28. イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった															
	独自の指標①																		
	独自の指標②																		
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>バガサフェスタについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催することができなかったので、令和3年度の開催に向けて、イベント運営方法の見直しについて検討を行いました。バガサフェスタの模擬店の出展やステージ出演については、基本的に前年度出展していただいた団体に依頼していましたが、様々な団体が参加できるように「公募」による出展者の募集について検討を進めました（募集要項（案）の作成）。イベント出展者を公募（予定）にすることで、様々な団体の参加機会を作ることができ、魅力的なイベントの開催につながると考えます。</p> <p>すむ・奈良・ほっかつ！事業については、KPIの「プロモーション活動の認知度」が50.6%で、昨年度より2.5%上昇していることから、概ね目標の成果が得られたと考えます。また、総合的な効果検証については、これまで様々なPR・イベント等を通して、北葛城郡の魅力を発信してきたことで、プロモーション活動の認知度が向上し、中にはプロモーション活動がきっかけで転入しているケースもあることから、一定の成果があったのではないかと考えますが、プロモーション活動の実施には多大な費用が必要となるため、移住施策については一旦区切りをつけることとし、移住施策の他に4町共同で取り組むべきことを新たに検討していきます。</p>																		
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>																			
<p>【プロモーション活動の認知度（%）】</p> <table border="1"> <caption>プロモーション活動の認知度（%）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認知率 (%)</th> <th>最終目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>46.5</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>48.1</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>50.6</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	認知率 (%)	最終目標値 (%)	H30	46.5	50.0	R01	48.1	50.0	R02	50.6	50.0	R03	50.0	50.0
年度	認知率 (%)	最終目標値 (%)																	
H30	46.5	50.0																	
R01	48.1	50.0																	
R02	50.6	50.0																	
R03	50.0	50.0																	
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>大阪府周辺のベッドタウンとなる自治体との比較の中で、知名度の面を考慮すると、暮らしやすい住環境を町外へPRしていくことが必要であり、イベント等を実施することで、関係人口・交流人口の増加、地域の活性化につなげてほしいというニーズは今後も増えてくると考えます。</p>																		
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>バガサフェスタについては、今後もより魅力的なイベントになるよう工夫していく必要があります。イベント運営方法の見直しについては、検討した内容をベースに実際の運用に反映させていくためには、内容の詳細を調整していく必要があります。</p> <p>すむ・奈良・ほっかつ！事業については、移住施策の取組が一旦区切りとなったことで、新たな取組の検討を進めていく必要があります。</p>																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見直し	
取組状況						
見直し						
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：） <input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）				
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p>バガサフェスタについては、今後も多くの来場者、参加者に満足していただけるよう、効果的な実施方法やニーズを把握しながら少しずつ装いを変えていきたいと考えています。</p> <p>すむ・奈良・ほっかつ！事業については、「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」の中で、4町共同で新たにに取り組むべき内容の検討を進めていきます。</p>				
2021年度（R03） 実施予定		<p>令和3年度も引き続き、バガサフェスタの開催を予定していますが、開催にあたっては、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら実施の判断を行います。また、実施できなかった場合は、新型コロナウイルス感染防止対策を含めたイベント運営方法の見直しやコンテンツの検討等を行い、令和4年度の開催に向けた準備を進める予定です。</p> <p>すむ・奈良・ほっかつ！事業については、北葛城ホームページ等の既存作成物を活用したPR活動を継続していくとともに、「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」の中で、4町共同で新たにに取り組むべき内容を検討していきます。</p>				
指標（予定）	KPI	プロモーション活動の認知度	51%			
	—					
	—					

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	企画財政課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	53ページ
担当係	総合企画係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	② 上牧町への新しい人の流れをつくる		
	基本的方向	② 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上		
	施策	② 関係人口・交流人口の創出		
	取組内容	29	③ 大学や企業との連携によるブランディングの推進	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	④未実施		
	2020年度（R02）実施予定	⑤その他		
	説明 （⑤その他の場合）	財源・協力者の確保		
実施内容	令和2年度において実施の予定はありませんが、財源確保に向けて、地方創生関連交付金を活用できないか国・県に相談を行います。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	事業者紹介特設サイト構築事業	0	1,334	0	
合計	0	1,334	0	3年間累計	1,334

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	③計画の内容に加え、別の取組も実施した
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	<p>地方創生推進交付金については、町ホームページのリニューアルを含めた計画で相談しましたが、必要性があると認められる場合は対象とならないわけではないが、過去に事例がないのでハードルは高くなるとの回答がありました。また、令和元年度に実施した定住対策検討プロジェクトチームにおいて、提案された事業についても相談しましたが、当該事業においても、地域の強み（産業や産品、他自治体に負けない強みなど）を整理した上で、明確な将来設計のもと、地域特有の課題解決に資するため、全体的に戦略性や具体性を持たせる必要性があるとの指摘がありました。それをしようとする、協力事業者等の確保やブランディングの方向性についての理由付けが必要になりますが、現状、新型コロナウイルス感染拡大の影響で事業者負担が強いのは難しい状況です。</p> <p>また、地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、売上の低迷や過剰在庫等の課題を抱える町内事業者の売上回復、販路確保につなげるとともに、域内のみならず域外からの消費喚起・拡大を図り、地域活性化に資することを目的に「事業者紹介特設サイト」を開設しました。</p>

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
町ホームページ年間アクセス数	件	110,000	145,276	167,832	160,000 287,870	160,000

29. 大学や企業との連携によるブランディングの推進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>事業者紹介特設サイトについては、サーバの移設等が必要になるなど、サイト構築作業に時間を要し、当初の予定（令和2年10月下旬）より遅れての公開（令和3年2月）となりましたが、令和2年度までに27事業者から申込をいただき、町の魅力発信につなげることができましたので、概ね目標とする成果が得られたと考えます。</p>			
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>少子高齢化・人口減少が進行する中で、地域固有の資源を活用や独自の価値を掘り起こしによる都市ブランドの確立、次代を担う若年層の流入増・流出減をもたらすことで、地域コミュニティの持続可能性の確保や持続的発展につなげていくことは、今後ますます必要と考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>本格的な地域ブランディングを進めていくためには、地域ならではの価値（歴史、文化、地域資源、誇り等）やアイデンティティの発掘や、独自の商品・サービス等の開発または売上増により、認知度向上や高付加価値化につなげていく必要があります。また、それには民間等のノウハウや地域全体の団結が求められますが、コロナ禍の状況に鑑みると、すぐに実行することも難しく、また、ある程度時間も要するとも想定されます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見通し	
取組状況								
見通し								
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 持続可能なまちづくりを実現していくためには、地域の魅力や上牧町への関心、認知度を高めていくことが必要ですが、ブランディングを進めていくにあたっては、地域の協力が不可欠であるという認識を共有し、地域全体の機運を高められるよう、行政が中心になって色んな手段で地域の魅力の発信や発掘に取り組んでいきたいと考えます。						
2021年度（R03） 実施予定		引き続き、事業者紹介特設サイトの運営、掲載事業者数を増やしていく取組を継続するとともに、地域の魅力（町内で販売されている商品等）を町外に発信し、上牧町の魅力の認知度向上と町外の方でも上牧町に関わるきっかけづくりとして、大手ふるさと納税サイトやクラウドファンディングの活用を通じてブランディングにつなげていくことができないか検討します。						
指標（予定）	KPI	町ホームページ年間アクセス数	300,000件					
	独自	事業者紹介特設サイト掲載事業者数	40事業者					
	—							
	—							

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	企画財政課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	53ページ
担当係	総合企画係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	② 上牧町への新しい人の流れをつくる			
	基本的方向	② 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上			
	施策	② 関係人口・交流人口の創出			
	取組内容	30	④ 移住支援金事業		
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）			
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）			
	説明 （⑤その他の場合）				
実施内容	令和元年度から奈良県と連携し、県内企業などの人材不足の解消と町内への移住・定住を促進させるため、東京圏から移住し、県内での就業や起業をしようとする方に対し支援金を給付しています。 令和2年度については、上牧町への移住促進を図るため、事業認知度を高める取組として、町ホームページにおいて専用ページを作成するほか、啓発用のチラシ作成及び住民課（現：住民保険課）窓口への設置を行います。				
独自の指標	指標①		目標（値）		
	指標②		目標（値）		

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
移住支援金事業	0	0	1,000		
合計	0	0	1,000	3年間累計	1,000

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した			
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
移住支援金申請件数（累計）	件	—	—	—	1 —	1

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>事業の周知については、町ホームページにおいて「移住支援金事業」の専用ページの作成とトップページへのバナーの設置とチラシの作製を行いました。また、啓発チラシについては、住民課（現：住民保険課）窓口を設置し、転入者への制度案内に役立てました。その他、国においても、要件等の弾力化を図る制度改正等もありましたが、活用・問い合わせが1件もありませんでした。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>東京一極集中の是正や、新型コロナウイルス感染のリスクを避ける生活様式を求め、地方への移住や二地域居住に関する機運は高まってきていると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>移住支援金事業については、要件緩和などの弾力化が図られているものの、奈良県が運営しているマッチングサイト「ジョブならnet」の求人件数が少なく、対象となる人材が少ないというのが現状です。求人件数を増やす取組としては、県が実施している支給対象法人の募集の案内を町内事業者へ情報提供するなど受け皿を増やすことが考えられますが、同時に上牧町の認知度を高める取組についても必要だと考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見直し										
取組状況														
見直し														
今後の方向性	<p>施策展開</p> <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）													
	<p>改善内容（改善点に対する改善方法等）</p> <input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）													
2021年度（R03） 実施予定	<p>令和3年度については、事業認知度を高めるとともに、受け皿を増やす取組として、広報かんまきにおいて事業周知を行います。また、あわせて県が作成している支給対象法人の募集チラシを設置します。</p>													
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">指標（予定）</td> <td>KPI</td> <td>移住支援金申請件数（累計）</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標（予定）	KPI	移住支援金申請件数（累計）	1件	—			—			—		
	指標（予定）		KPI	移住支援金申請件数（累計）	1件									
—														
—														
—														

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	総務課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	54ページ
担当係		関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	③ 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる		
	基本的方向	① 地域資源を活用した魅力創出		
	施策	① 公共施設の相互利用		
	取組内容	31	① 公共施設広域連携検討会の開催	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>全国的に少子高齢化が進み、多くの自治体で財政状況が厳しくなる中、多数の老朽化した公共施設を自治体が単独で管理・運用していくことが難しい状況になりつつあるため、公共施設に関する広域連携を進め、エリアマネジメントによる効果的・効率的な施設管理の実現と利便性の向上を目指して、令和元年度において、3市4町（大和高田市・香芝市・葛城市・上牧町・王寺町・広陵町・河合町）による「中和・西和広域連携検討会」が設立されました。</p> <p>令和2年度は、体育施設・文化施設の相互利用や共同管理の可能性について検討していくために、「施設の評価・分析」や「施設の利用実態・相互利用のニーズを把握するためのアンケート調査」を行います。</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費					
合計	0	0	0	3年間累計	0

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した			
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
公共施設広域連携検討会の年間開催数	回	—	—	—	3 5	3

31. 公共施設広域連携検討会の開催

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>令和2年度は、広域連携検討会が5回開催され、施設の相互利用に向けた課題の整理等を行うことができ、概ね目標の成果が得られたと考えます。</p> <p>「施設の評価・分析」において評価結果の団体間比較等を行ったことで、施設整備の優先度を確認することができました。また、施設利用者に対する「アンケート調査」の結果では、既に他の自治体の施設を利用している方が多いことが分かり、広域利用に対するニーズを確認することができました。その他、施設の相互利用に関する課題の整理等を行ったことで、相互利用や共同管理の実現に向けて今後更に具体的な検討を進めていくことができると考えます。</p> <p>【相互利用の課題整理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料金体系と利用料金の設定 ・予約・利用方法の調整 ・利用料金の自治体差と取扱い 			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>公共施設に関する広域連携を進めることで、各自治体における施設の管理コストの縮減が期待できるとともに、相互利用や共同管理が実現することで、利用可能施設の拡大や料金体系の統一等、利用者の利便性の向上につながっていくと考えられるため、ニーズは増加する傾向にあると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>公共施設の相互利用に関して整理した課題については、より具体的な検討を進め、相互利用・共同管理を進めるための取組を実行に移していく必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見通し										
取組状況															
見通し															
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）													
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 公共施設の相互利用に関して整理した課題については、より具体的な検討を進め、相互利用・共同管理を進めるための取組を実行に移していく必要があります。													
2021年度（R03） 実施予定		<p>公共施設の相互利用に関して整理した検討課題を踏まえ、引き続き「中和・西和広域連携検討会」を定期的に開催し、相互利用・共同管理の実現を目指して、具体的な検討を進めていきます。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">指標（予定）</td> <td>KPI</td> <td>公共施設広域連携検討会の年間開催数</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標（予定）	KPI	公共施設広域連携検討会の年間開催数	3回	—			—			—		
指標（予定）	KPI	公共施設広域連携検討会の年間開催数		3回											
	—														
	—														
	—														

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	54ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	③ 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる		
	基本的方向	① 地域資源を活用した魅力創出		
	施策	② 地域資源の整備		
	取組内容	32	① 史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
実施内容	説明 (⑤その他の場合)			
	<p>史跡上牧久渡古墳群整備事業においては、令和2年度に整備工事実施設計業務と整備工事を実施予定です。 片岡城跡においては、維持管理のため樹木消毒業務・草刈業務を実施予定です。 令和2年度から歴史ガイドボランティア養成講座を開講する予定です。また国史跡上牧久渡古墳群を中心に町内の文化財に関しては、引き続き「歴史を学ぶ講座」を中心に普及・啓発を進めていく予定です。 「ふるさと上牧の歴史遺産」と題して、SNSを利用して文化財を紹介する10分程度の番組を作成し、YouTubeで配信を行う予定です。 また、郷土学習として画文帯環状乳神獣鏡や上牧銅鐸のレプリカ等を学校に貸出を行い、活用していく予定です。</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	文化財保護事業	15,266	1,628	59,264	令和2年度繰越金額9,978千円
	合計	15,266	1,628	59,264	3年間累計 76,158

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった	
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	史跡上牧久渡古墳群整備事業については、整備工事実施設計業務と整備工事を完了できなかった。	

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 (H27) 【基準値】	2018年度 (H30) 【基準値】	2019年度 (R01)	2020年度 (R02)	2021年度 (R03) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
歴史ガイドボランティアの養成人数（目標年度終了時点）	人	—	—	—	20 16	30

32. 史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																						
	独自の指標①		実績（値）																					
	独自の指標②		実績（値）																					
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 史跡上牧久渡古墳群整備事業については、整備工事において開発行為許可申請に伴う調査委託業務が必要になったため、令和2年度の年次計画であった実施設計業務と整備工事を完了できず、年次計画の見直しが必要な状況になりました。 歴史ガイドボランティア養成講座については、史跡上牧久渡古墳群を中心に町全体の文化財についてのガイドを養成するため、10月から2回、文化財専門員による講習と現地研修を行いました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、住民の外出の機会が減り自宅で過ごす時間が増えたので、上牧町の文化財を知っていたためSNSを利用して文化財を紹介する10分程度の番組を4番組作成し、YouTube配信を行い好評を得ました。 郷土学習として画文帯環状乳神獣鏡や上牧銅鐸のレプリカ等を小学校に貸出を行い、活用していただくことができました。																							
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																								
【史跡上牧久渡古墳群整備事業年次計画】																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">（当初計画）</th> <th>（計画変更） 予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>保存活用計画策定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>整備基本計画策定・基本設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>実施設計・第一期整備工事</td> <td>実施設計</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>第二期整備工事</td> <td>実施設計・第一期整備工事</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>第三期整備工事・整備報告書作成</td> <td>第二期整備工事</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td></td> <td>第三期整備工事・整備報告書作成</td> </tr> </tbody> </table>				（当初計画）		（計画変更） 予定	H30	保存活用計画策定		R01	整備基本計画策定・基本設計		R02	実施設計・第一期整備工事	実施設計	R03	第二期整備工事	実施設計・第一期整備工事	R04	第三期整備工事・整備報告書作成	第二期整備工事	R05		第三期整備工事・整備報告書作成
（当初計画）		（計画変更） 予定																						
H30	保存活用計画策定																							
R01	整備基本計画策定・基本設計																							
R02	実施設計・第一期整備工事	実施設計																						
R03	第二期整備工事	実施設計・第一期整備工事																						
R04	第三期整備工事・整備報告書作成	第二期整備工事																						
R05		第三期整備工事・整備報告書作成																						
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																						
	評価の根拠及び理由 平成28年度から実施している「歴史を学ぶ講座」の参加者も増加しており、平成24年度からの上牧久渡古墳群発掘調査・整備事業の実施にあわせて、国史跡上牧久渡古墳群を中心として上牧町の文化財についての注目度も高まっています。																							
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																						
	評価の根拠及び理由 史跡上牧久渡古墳群整備事業において、関係課と連携し、整備事業を更に円滑に進めて行く必要があります。 郷土学習としてレプリカ等を小学校に貸出を行い活用していただいています。今後は、園児児童生徒向けに町内の郷土学習のための教材作り（絵本等）を行うことにより更なる普及・啓発につながると考えます。																							

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → 取組状況 見通し	
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 史跡上牧久渡古墳群整備事業において、関係課と連携し、整備事業を更に円滑に進めて行く必要があります。	
2021年度（R03） 実施予定		史跡上牧久渡古墳群整備事業については、実施設計・整備工事を実施予定です。 歴史ガイドボランティア養成講座については、令和2年度に引き続き受講生には知識を深めてもらい、今後は町主催事業等でガイドの活躍の機会を設けていきたいと考えております。 また、引き続き文化財を紹介する動画を作成し、YouTubeで配信を行っていくとともに、園児児童生徒向けに町内の郷土学習のための教材作り（絵本等）を行う予定です。	
	指標（予定）	KPI	歴史ガイドボランティアの養成人数（目標年度終了時点）
		-	30人
		-	

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	まちづくり推進課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	54ページ
担当係		関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	③ 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる			
	基本的方向	① 地域資源を活用した魅力創出			
	施策	② 地域資源の整備			
	取組内容	33	② 滝川を活用したにぎわい創出事業		
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）			
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）			
	説明 （⑤その他の場合）				
実施内容	滝川右岸において、遊歩道整備工事L=1,029m、ポケットパーク整備工事A=191m、左岸において遊歩道整備工事L=321mを実施します。 県が「奈良の河川彩づくり事業」として、虹の湯下の町有地において滝川の親水護岸整備工事を実施します。				
独自の指標	指標①		目標（値）		
	指標②		目標（値）		

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度		2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	滝川遊歩道整備工事	36,943	90,363	155,000		
合計		36,943	90,363	155,000	3年間累計	282,306
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）					

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
整備状況進捗率	%	—	—	23	47 47	50

33. 滝川を活用したにぎわい創出事業

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった												
	独自の指標①			実績（値）												
	独自の指標②			実績（値）												
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>大学と地元NPOと協働による「滝川における清らかな水辺の創造計画」を実現するため、平成29年度で立案した滝川水辺周辺地区整備計画（5ヶ年計画）について、令和2年度では、滝川右岸において文化センターから葛城台までの区間の遊歩道整備を実施し、左岸においてまきは郵便局から滝川台入り口までの区間の遊歩道整備を実施しました。県において親水護岸整備工事を実施していただきました。また、滝川河床の堆積土砂撤去工事についても昨年に引き続き実施していただきました。</p> <p>○施設撤去工 AS舗装撤去 2,468㎡ 照明柱撤去 30基</p> <p>○園路広場整備工 カラーAS舗装 3,488㎡</p> <p>○管理施設整備工 転落防止柵 326m</p> <p>○電気設備工 ハンドホール 5箇所</p> <p>照明柱 33基</p> <p>埋設管 1,302.8m</p> <p>電線 1,448.6m</p>															
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <div style="text-align: center;"> <p>滝川遊歩道整備事業進捗率</p> <table border="1"> <caption>滝川遊歩道整備事業進捗率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>令和1年度</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>46.7%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>91.9%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> </div>					年度	進捗率	平成30年度	11.5%	令和1年度	22.6%	令和2年度	46.7%	令和3年度	91.9%	令和4年度	100.0%
年度	進捗率															
平成30年度	11.5%															
令和1年度	22.6%															
令和2年度	46.7%															
令和3年度	91.9%															
令和4年度	100.0%															
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>滝川周辺は野鳥や季節ごとの草木が観察でき、町民にとって身近な散歩道となっています。また、高齢化の進展に伴い住民の健康志向の高まりもあり、遊歩道整備についての要望は高くなっていると考えられます。</p>															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>上牧町第5次総合計画において、将来都市構想における都市の骨格となる軸と位置付けている「かんまき笹ゆり回廊」を中心としたにぎわいあるまちづくりを目指して、県と連携して滝川の水辺景観整備を今後も進めて行く必要があります。</p>															

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見通し						
取組状況											
見通し											
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）									
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 滝川親水護岸整備工事箇所について、農繁期に水を溜めた場合でも通行可能な高さへのかさ上げと防護柵及び門扉を設置する工事を奈良県高田土木事務所に令和3年度に実施して頂きます。									
2021年度（R03） 実施予定		大学と地元NPOとの協働による「滝川における清らかな水辺の創造計画」を実現するため、平成29年度で立案した滝川水辺周辺地区整備計画について、令和3年度以降以下の通り実施予定です。 令和3年度 遊歩道整備（左岸）・葛城台地区公園整備 令和4年度 下牧地区公園整備 「かんまき笹ゆり回廊」を中心としたにぎわいあるまちづくりを目指して、県と連携して滝川の水辺景観整備を遊歩道整備後も引き続き行っていきます。									
	指標（予定）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>整備状況進捗率</th> <th>92%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	KPI	整備状況進捗率	92%	—			—		
KPI	整備状況進捗率	92%									
—											
—											

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	企画財政課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	55ページ
担当係	総合企画係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	③ 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる		
	基本的方向	② 地域住民との協働によるまちづくりの推進		
	施策	① 地域活動の支援・促進		
	取組内容	34	① 町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	優れた技術・能力を有する人材の発掘を目的として実施している人材登録制度「上牧町まちづくり人材バンク」（以下、「人材バンク」）の拡充を行うために、広報やホームページ等において人材バンクに関する情報発信を行っていきます。また、関係課との人材バンクの共有を継続していくことで、人材バンクの活用を促進し、町民のまちづくりへの参画機会の創出につなげていきます。その他、自治連合会の総会等の場に出向いて、登録・利活用に関する呼びかけを行っていきます。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費					
	合計	0	0	0	3年間累計
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった			
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	自治連合会の総会等の場に出向いて行う登録・利活用に関する呼びかけについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、実施できませんでした。			

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
人材バンク登録者数（目標年度終了時点）	人	10	29	30	35 30	40
人材バンク登録者年間活用件数	人	—	9	9	20 7	20

34. 町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																						
	独自の指標①		実績（値）																					
	独自の指標②		実績（値）																					
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 広報において人材バンクに関する情報発信を行ったものの、自治連合会の総会等の場に向いて登録・活用に関する呼びかけを直接行うことができなかったこともあり、KPIについては「人材バンク登録者数」及び「人材バンク年間活用件数」が目標値を下回ったため、目標とする成果は得られなかったと考えます。																							
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																								
【人材バンク登録者数・活用件数】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数【累計】（人）</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>活用件数【年間】（件）</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>					H27	H28	H29	H30	R01	R02	登録者数【累計】（人）	10	15	20	29	30	30	活用件数【年間】（件）	1	0	0	0	9	7
	H27	H28	H29	H30	R01	R02																		
登録者数【累計】（人）	10	15	20	29	30	30																		
活用件数【年間】（件）	1	0	0	0	9	7																		
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																						
	評価の根拠及び理由 高齢化の進行に伴い、地域の担い手不足が懸念されている状況であるため、優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用促進の取組を進めてほしいというニーズは増えてくると考えます。																							
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																						
	評価の根拠及び理由 人材バンクの登録者の拡充については、直接的な働きかけができていないため、自治会や各種団体から人材を紹介してもらうなど、多方面にアプローチしていくことで、登録者数を増やしていくことが見込めると考えますが、人材バンクの活用については、人材バンクの内部共有を継続して実施しているものの、活用件数が増加していない状況であるため、活用を促進するためには、制度自体の見直しも視野に入れる必要があると考えます。																							

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>		取組状況		見直し	
取組状況							
見直し							
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）					
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 人材バンクについては、現行の制度における登録者の拡充及び活用促進の取組を進めるとともに、人材バンク制度をより良いものとするために制度内容の見直しについても検討していく必要があると考えます。					
2021年度（R03） 実施予定		引き続き、人材バンクを拡充していくために、広報やホームページ等において人材バンクに関する情報発信を行っていくとともに、関係課との情報共有を継続していく予定です。また、他自治体の事例等を調査しながら、人材バンク制度の見直しについても検討を進めていく予定です。					
指標（予定）		KPI	人材バンク登録者数（目標年度終了時点）	40人			
		KPI	人材バンク登録者年間活用件数	20人			
		—					
		—					

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	秘書人事課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	55ページ
担当係	秘書広報係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	③ 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる		
	基本的方向	② 地域住民との協働によるまちづくりの推進		
	施策	① 地域活動の支援・促進		
	取組内容	35	② 地域活動団体の設立及び活動支援	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	現在2か所ある自治会未設立地区に、自治会の設立の手引きや自治会会則例等を示し、設立に向けた支援を行います。また、自治会振興費助成金を交付し地域活動を支援し、まちづくり協議会の設立に向けた具体的な支援策等について検討を行う予定です。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
上牧町自治連合会	3,554	3,748	3,809		
合計	3,554	3,748	3,809	3年間累計	11,111

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	自治会未設立地区の1つである、片岡台1丁目のセントラルヒルズ西大和に訪問し、マンションの役員の方とお話をさせていただきました。

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
新規地域活動団体年間設立数	団体	—	4	—	9 —	9

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>自治会空白地の1つである、片岡台1丁目のセントラルヒルズ西大和を訪問し、マンションの役員の方とお話をさせていただきました。 上牧町自治連合会に対して防犯活動の援助及び交付等を実践したことで、住民のみなさんの地域活動への機会創出ができました。</p>			
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>自治会設立について、新興住宅地の開発に伴い、ニーズが発生する可能性がありますので、要望に対し適切にサポートできる体制を維持していきたいと考えます。 地域活動について、高齢化等の問題により、住民自治の維持が困難になっていく中で、地域活動の支援を求めるニーズは今後ますます高まると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>自治会の設立には、地域住民の意思形成に関すること等、中心となる担い手が必要であり、自治会空白期間が長くなっている地域等において、自治会の必要性について理解を浸透させることに時間を要していますが、自治会空白地の1つであるマンションの住民が、マンション内ではなく住所地区の自治会に加入された方もおられるとのことなので、当該マンションを自治会空白地とするか今後検討していく必要があると考えます。 地域活動の支援については、今後も継続しますが、高齢化の進行に伴い、担い手も減少している状況においては、支援のあり方や次世代の担い手となる人材の掘り起こし等が必要と考えます。今後はまちづくり協議会の設立の支援等についても検討していく必要があると考えます。なお、まちづくり協議会の設立については、あくまで主体となる町民の意思が尊重されるものとなりますが、住民意識の醸成を待つのではなく町職員全員がこの問題について認識し、担い手となる町民とともに一体となって取り組む必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>				取組状況		見直し	
取組状況								
見直し								
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 自治会空白地の1つであるマンションの住民が、マンション内ではなく住所地区の自治会に加入された方もおられるとのことなので、当該マンションを自治会空白地とするか今後検討していく必要があると考えます。 また、自治会振興費については地域の人口から割り出した金額であり、自治会未加入者を数に含まれているということを含め、自治会空白地に対する助成を検討する必要があると考えます。						
2021年度（R03） 実施予定	令和3年度も引き続き、町民参画による協働のまちづくりを推進していくため、町民の地域活動支援として上牧町自治連合会や各地域の自治会に補助や助成、地域活動の紹介、各種団体設立支援、自治会設立支援等を行います。 また、まちづくり協議会の設立に向けて、自治連合会（定例会または臨時会・役員会）において必要性等に関する説明と各地区での準備会の設立に関する提案を行うとともに、各地区での会議・検討の支援をしながらニーズの把握を行います。							
	指標（予定）	KPI	新規地域活動団体年間設立数	9団体				
		-						
		-						
		-						

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	企画財政課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	55ページ
担当係	総合企画係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	③ 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる		
	基本的方向	② 地域住民との協働によるまちづくりの推進		
	施策	① 地域活動の支援・促進		
	取組内容	36	③ 上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>「上牧町協働のまちづくり公募型補助金」は、町の活性化や地域団体の育成を図り、その継続的な活動を通して町民と行政との協働のまちづくりの推進を目的として、町民により組織される団体が行う公益的活動に対して、町が補助金を交付する制度であり、団体からの申請に応じて、補助金の交付を行います。</p> <p>また、本制度の活用促進の一環として、「上牧町協働のまちづくり公募型補助金交付要綱」の改正を行います。</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度		2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	上牧町協働のまちづくり公募型補助金	352	193	750		
合計		352	193	750	3年間累計	1,295
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）					

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
年間申請団体数	団体	2	5	3	5 3	5

36. 上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																
	独自の指標①		実績（値）																	
	独自の指標②		実績（値）																	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>令和2年度は、申請団体数が3団体であり、KPIの指標である「年間申請団体数」が目標値の5団体を下回りましたが、本制度の活用促進を目的として、交付要綱の内容について、申請団体の自己負担額を軽減できるような改正を行いましたので、今後、本補助金の活用促進につながっていくと考えます。</p> <p>【申請事業】</p> <p>①琉球國祭り太鼓（申請団体：さぶらいが・べがの会）【中止：補助金交付額0円】</p> <p>②コロナ禍の災害対策ワークショップ（申請団体：かんまき自主防災ネットワーク）【中止：補助金交付額42,636円】</p> <p>③地域防犯活動の高齢化対応と水平展開（申請団体：西大和6自治会連絡会）【実施：補助金交付額150,000円】</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大の影響で2事業が中止となりましたが、1事業については、準備に係る経費が発生していたため、実績額に応じて補助金を交付しています。</p>																			
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>【上牧町協働のまちづくり公募型補助金 年間申請団体数】</p> <table border="1"> <caption>年間申請団体数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>申請団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					年度	申請団体数	H27	2	H28	4	H29	4	H30	5	R01	3	R02	3	R03	5
年度	申請団体数																			
H27	2																			
H28	4																			
H29	4																			
H30	5																			
R01	3																			
R02	3																			
R03	5																			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業」については、申請まで至っていない相談や問い合わせもあり、活用実績の増加に伴い認知度が高まることで、ニーズは今後も増えてくるとともに多様化してくるものと考えます。</p>																			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>今後、さらに補助金の活用を促進していくためには、申請団体が少なかった場合に追加募集を行っていくなどの検討が必要であると考えます。</p>																			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見通し									
取組状況														
見通し														
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）												
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 補助金の活用を促進していくため方法の1つとして、令和3年度からは、申請団体が少なかった場合に追加募集ができる枠組みで補助金申請の募集を行っていきます。												
2021年度（R03） 実施予定		申請団体が少なかった場合に追加募集ができる枠組みとして、令和3年度も引き続き「上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業」を実施していく予定です。												
	指標（予定）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>年間申請団体数</th> <th>5団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	KPI	年間申請団体数	5団体	—			—			—		
KPI	年間申請団体数	5団体												
—														
—														
—														

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	総務課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	55ページ
担当係	安全安心係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	③ 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる		
	基本的方向	② 地域住民との協働によるまちづくりの推進		
	施策	② 防災・防犯活動の支援・促進		
	取組内容	37	① 防災訓練の実施支援及び近隣自治体との広域連携	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>●3校区（自治会対象）に分けての避難所開設訓練の実施 避難所運営ゲーム（HUG）を活用した避難所開設訓練を実施します。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験できます。</p> <p>●北葛城4町防災訓練に伴う担当者検討 北葛城郡4町の担当者による「合同防災訓練」の実施に向けた検討を行います。</p>			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	避難所運営訓練の実施	0	0	300	
合計	0	0	300	3年間累計	300

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	④計画を変更して実施した
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、3校区（自治会対象）に分けての避難所開設訓練は中止となりましたが、代替りの取組として、町職員を対象とした「新型コロナウイルス感染防止対策に配慮した避難所開設訓練」を実施しました。</p> <p>北葛城4町防災訓練に伴う担当者の検討については、新型コロナウイルス感染症への対応もあり、協議できませんでした。</p>

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
地域防災訓練の年間支援回数	回	—	—	1	3 —	3
広域防災訓練開催に向けた検討会議の年間開催数	回	—	—	1	1 —	1

37. 防災訓練の実施支援及び近隣自治体との広域連携

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由） ●新型コロナウイルス感染防止対策に配慮した避難所開設訓練（町職員対象） 令和2年9月1日（火） 場所：上牧町役場西館 対象：町職員 避難者の十分なスペースを確保した避難所設営・避難者の受入れ訓練等を実施 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、感染防止対策に配慮した避難所開設訓練を町職員24名が参加し、対応力の向上が図ることができました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 訓練を通じて住民一人ひとりが自分の身は自分で守る「自助」・地域や近隣の人々が協力し合いながら防災活動に組織的に取り組む「共助」に対する支援が求められます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 近隣自治体との合同防災訓練の実施や子ども向け防災教室の拡充、乳幼児子ども防災意識向上事業の実施が必要であると考えます。防災士との連携を図り、自主防災組織等が行う防災活動を支援し、防災・減災体制の充実に取り組む必要があります。また、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮した避難所開設が求められることから、住民向けの訓練も必要になってくると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="background-color: #d9ead3;">取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9ead3;">見直し</td> <td></td> </tr> </table>	取組状況		見直し	
取組状況						
見直し						
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）				
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 今後は、避難所開設においても感染症対策が必須となることから、避難所設営や受付方法など、運営に関する具体的な訓練が必要となると考えます。				
2021年度（R03） 実施予定		新型コロナウイルス感染症が収束し次第、「3校区（自治会対象）に分けての避難所開設訓練」を実施する予定です。 また、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策の一環として「上牧町避難所運営マニュアル（新型コロナウイルス感染症対策編）」を作成しており、今後は、当該マニュアルを活用しながら避難所運営訓練を実施していきます。				
指標（予定）	KPI	地域防災訓練の年間支援回数	3回			
	KPI	広域防災訓練開催に向けた検討会議の年間開催数	1回			
	—					
	—					

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	総務課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	55ページ
担当係	安全安心係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	③ 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる		
	基本的方向	② 地域住民との協働によるまちづくりの推進		
	施策	② 防災・防犯活動の支援・促進		
	取組内容	38	② 子ども防災意識の向上及び防災物資の備蓄	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	乳幼児のための備蓄品を購入します。 保育所・幼稚園・小中学校においてシェイクアウト訓練を実施します。 バガサフェスタにおいて乳幼児救急教室（AED、心臓マッサージ等）を実施します。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費					
災害時備蓄備品	1,791	4,710	1,158		
合計	1,791	4,710	1,158	3年間累計	7,659

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、乳幼児救急教室（AED、心臓マッサージ等）は実施できませんでした。

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
子ども防災意識の向上教室の年間開催数	回	—	1	1	1 —	1
子ども用災害物資の備蓄品数	種類	17	19	19	22 20	22

38. 子ども防災意識の向上及び防災物資の備蓄

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 乳幼児の備蓄品として、液体ミルク及び粉ミルクを購入しました。【0～1歳用（48袋×4箱）、1～3歳用（48袋×4箱）】 ※子ども用災害物資備蓄数（20種類） また、保育所・幼稚園・小中学校等において、シェイクアウト訓練を実施し、防災意識の向上に努めました。（本庁、上牧第1保育所、上牧幼稚園、上牧小、上牧第二小、上牧第三小、上牧中、上牧第二中）			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 災害時要配慮者である乳幼児への防災意識は、昨今の防災事情からも高まると予測しています。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 備蓄品の確保については、町全体、各自治会の備蓄品の状況を踏まえて、計画的に進めていく必要があります。 また、避難所における生活環境に注意を払い、プライバシーの確保、男女のニーズの違い、乳幼児・子ども等の要配慮者に対する適切な配慮を行っていくことが必要です。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 50px;">取組状況</td> <td style="width: 300px;"></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見直し	
取組状況								
見直し								
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルスなどの感染症に対応した備蓄品の整備等を行います。 避難所においては、プライバシーの確保、男女のニーズの違い、乳幼児・子ども等の要配慮者に対する適切な配慮を行うための対策について、検討を進めていきます。						
2021年度（R03） 実施予定		子ども用災害物資備蓄品としてアレルギー対応のライスクッキー等を購入する予定です。 町立保育所及び幼稚園に防災訓練（シェイクアウト訓練等）参加促進の呼びかけを考えています。 ペガサスフェスタにおける乳幼児救急教室（AED、心臓マッサージ等）の開催を予定しています。 新型コロナウイルス感染症対策として、必要な備品等の整備を行います。						
指標（予定）	KPI	子ども防災意識の向上教室の年間開催数		1回				
	KPI	子ども用災害物資の備蓄品数		22種類				
	—							
	—							

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	総務課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	55ページ
担当係	安全安心係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	③ 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる		
	基本的方向	② 地域住民との協働によるまちづくりの推進		
	施策	② 防災・防犯活動の支援・促進		
	取組内容	39	③ 防犯活動の支援	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	①実施済み（完了）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	◎防犯カメラの設置 前年度設置分（3台）の通信機器整備を行います。 ◎高齢者対象の自転車用ヘルメット購入費の補助 65歳以上の方を対象に、ヘルメット購入費の半分の補助します。（ただし、3,000円を上限とする。） ◎西和地区防犯協議会による防犯電話購入費の補助 西和地区防犯協議会と共同して、特殊詐欺被害防止に効果的な「防犯機能を備えた電話」普及促進を目的とした「防犯電話購入助成事業」を実施します。（4町で100件）			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	防犯カメラ設置工事	2,377	0	3,245	
	防犯カメラ通信機器設置工事	1,287	1,171	1,171	
	自転車用ヘルメット購入費補助（高齢者対象）	0	102	210	
合計	3,664	1,273	4,626	3年間累計	9,563

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
防犯カメラの設置台数（目標年度終了時点）	台	3	12	24	24 24	27

39. 防犯活動の支援

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
◎防犯カメラの設置 前年度設置分（3台）の通信機器整備を行いました。 ◎高齢者対象の自転車用ヘルメット購入費の補助 申請件数38件 補助金額合計101,300円 ◎西和地区防犯協議会による防犯電話購入費の補助 防犯電話購入助成事業各町実績 上牧町 29件 王寺町 30件 河合町 37件 安堵町 4件				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 地域及び住民一人ひとりの防犯意識を高め、悪質な詐欺等から身を守るべく安全で安心なまちづくりのため、町民・警察・行政等が一体となった取組を推進していく必要があります。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 地域における見守り活動・町からの防犯活動等に積極的に参加していただくことで、町民一人ひとりの防犯意識を向上させ、町民・警察・行政等が一体となった防犯体制の強化をしていく必要があります。 今後は悪質な詐欺等の犯罪が身近に起こっても不思議ではないことだと認識してもらえるように周知していきます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見直し	
取組状況								
見直し								
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 令和元年10月に奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例が施行されたことに伴い、高齢者の自転車用ヘルメット着用の義務化に伴うヘルメット購入費補助を実施しており、令和2年度は実績としては38件の申請があったので、令和3年度には更なる周知及び啓発を行い、ヘルメット着用の義務化を徹底できるよう補助の件数を増やしていきます。また、特殊詐欺等の被害防止に効果的な「防犯機能を備えた電話」の普及促進を図るため、周知徹底を強化します。						
2021年度（R03） 実施予定		◎防犯カメラの設置 令和3年度については、6台の防犯カメラを町内の通学路や交通量の多い交差点等に設置を行います。 ◎高齢者対象の自転車用ヘルメット購入費の補助（申請件数70件） 65歳以上の方を対象に、ヘルメット購入費の半分の補助します。（ただし、3,000円を上限とする。） ◎西和地区防犯協議会による防犯電話購入費の補助（申請件数5町で150件） 西和地区防犯協議会と共同して、特殊詐欺被害防止に効果的な「防犯機能を備えた電話」普及促進を目的とした「防犯電話購入助成事業」を実施します。						
指標（予定）		KPI	防犯カメラの設置台数（目標年度終了時点）	30台				
		—						
		—						
		—						

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	企画財政課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	56ページ
担当係	総合企画係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	④ 誰もが働きやすい環境をつくる		
	基本的方向	① 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援		
	施策	① ネットワークを活用した就職支援		
	取組内容	40	① ハローワーク等と連携した就職支援	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
実施内容	説明 (⑤その他の場合)			
	求職者に対する就労支援と企業や事業者の人材確保に対する支援を行うために、役場庁舎内においてハローワークの求人情報提供サービス（閲覧専用端末の設置）を継続するとともに、取組に対する認知度を向上させるために、ホームページやSNSを活用し、積極的に認知度を向上させるための情報発信を行う予定です。 また、ハローワークと連携した就職準備セミナー（マザーズセミナー）の開催を予定しています。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費					
合計	0	0	0	3年間累計	0
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した			
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 (H27) 【基準値】	2018年度 (H30) 【基準値】	2019年度 (R01)	2020年度 (R02)	2021年度 (R03) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
就職情報提供端末年間利用者数（延べ人数）	人	—	—	6	20 3	20
就職準備セミナー等への年間参加者数（延べ人数）	人	—	—	—	25 15	25

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>ハローワーク大和高田・株式会社ママスクエアと連携し、「マザーズセミナー」を開催しました。（3/9開催）新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、上牧町公式YouTubeチャンネルでのライブ配信により行いましたが、当日は15名のかたにご参加いただいたほか、2自治体（福岡県福岡市・三重県亀山市）からの閲覧もありました。実施後のアンケートでも概ね高い評価をいただくことができました。また、役場庁舎内に設置しているハローワーク求人情報提供端末については、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、利用者は増えませんが、利用環境の整備（パーテーション等の設置）や広報かんまき（8月号）、SNSでの周知を行うことで利用促進を図りました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>出産後に再就職を希望する女性やシングルマザーの就業ニーズ、リタイア後のセカンドライフ等、ライフスタイルが多様化し、様々な働き方の実現が求められる中で、就職情報を積極的に発信していくなどの就職支援の取組についてのニーズは増加傾向にあると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ハローワーク求人情報提供端末については、現在スマートフォン等で情報を簡単に取得できるようになっており、情報を取得できる環境が整っていない方に対するサービスの提供になっていますが、利用者数が増えていない状況です。利用者が増えること自体は必ずしも良いというわけではありませんが、このサービスの認知度を高め、真に必要としている方に情報が届くような工夫が必要だと考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見直し	
取組状況								
見直し								
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） ハローワーク求人情報提供端末については、広報以外ではホームページやSNSを利用して周知に取り組んできましたが、ポスターやチラシ等のアナログでの周知を行っていくことで認知度の向上を図っていきます。						
2021年度（R03） 実施予定		役場庁舎内における求人情報提供端末について、サービスの認知度を高めるために、引き続きホームページやSNSを活用した情報発信を行うほか、ポスターやチラシの作成、設置を行う予定です。 また、ハローワークと連携した就職準備セミナー（マザーズセミナー）については、令和2年度に開催した動画をアーカイブ配信を継続するとともに、協力事業者を確保した上で令和3年度も実施する予定です。						
指標（予定）	KPI	就職情報提供端末年間利用者数（延べ人数）	20人					
	KPI	就職準備セミナー等への年間参加者数（延べ人数）	25人					
	—							
	—							

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	こども未来課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	57ページ
担当係	児童福祉係・こども支援係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	④ 誰もが働きやすい環境をつくる			
	基本的方向	① 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援			
	施策	② 子育てしながら安心して働ける環境の整備			
	取組内容	41	① 子育てと就労の両立の支援		
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）			
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）			
	説明 （⑤その他の場合）				
実施内容	<p>①延長保育事業：市町村の認定を受けた児童について、通常の利用日及び利用時間帯以外の日及び時間において保育所（園）で引き続き保育を実施する事業です。就労形態の多様化に伴い、やむを得ない理由により保育時間を延長して児童を預けられる環境が必要とされており、民間保育園の経営の健全化及び保育内容の充実を図るため、支援を行います。</p> <p>②放課後児童健全育成事業：保護者が共働き家庭等により、放課後や長期休業日（夏休み等）に保護者の家庭保育が受けられない児童に適切な遊びや生活の場を提供し健全育成を図ります。今年度から開設時間を午後7時までに延長して実施します。</p> <p>開設時間（1）月曜日から金曜日まで 放課後から午後7時まで（2）土曜日 午前8時から午後7時まで（3）学校休業日 午前8時から午後7時まで 定員：上牧小学校学童保育所 70名 上牧第二小学校学童保育所 70名 上牧第三小学校学童保育所 70名</p>				
独自の指標	指標①		目標（値）		
	指標②		目標（値）		

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考		
事業費	延長保育事業	4,731	4,707	6,765		
	放課後児童健全育成事業	18,290	32,810	30,986		
合計	23,021	37,517	37,751	3年間累計	98,289	

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した			
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
延長保育年間実利用者数	人	160	210	204	220 182	220
放課後児童クラブ月間受入人数（年平均値）	人	135	116	133	140 133	140

41. 子育てと就労の両立の支援

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																																																																						
	独自の指標①	実績（値）																																																																																																																								
	独自の指標②	実績（値）																																																																																																																								
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																																																																									
<p>①延長保育事業：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指消毒、定期的な換気等を行い感染拡大防止を図りつつ、延長保育を実施しました。</p> <p>延長保育利用人数 H29年度：194名（短時間保育55名・標準時間保育139名）H30年度：216名（短時間保育49名・標準時間保育167名）R元年度：204名（短時間保育73名・標準時間保育131名）R2年度：182名（短時間保育43名・標準時間保育139名）</p> <p>②放課後児童健全育成事業：就労形態の多様化に伴う保育需要に対応するため、平成29年度より全学年を対象として、通年及び長期休暇のみの受入れを実施し、利便性が図られたと考えます。また、保護者のニーズに応じて、学童支援員を増員し開設時間を午後7時まで延ばして実施しました。待機児童もなく、申込者すべての受け入れができ、概ね目標の結果が得られたと考えます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大予防のため町内小学校が休校や分散登校になった4～6月中旬の間は、登所自粛のお願いをしながら午前8時から午後7時までの一日保育となり、新型コロナウイルス感染症に対しての様々な対応をしながらの開所になりました。児童のマスク着用、手洗い、うがいの励行、物品の消毒、また机を追加し、密にならないような児童の配置を行いました。遊ぶ時にも密にならないように指導し、検温票を配布し、登所時には必ず検温と体調のチェックをして体調の悪い児童に留意し学童運営を行いました。</p> <p>学童保育利用人数（月平均）平成29年度：135名 平成30年度136名 令和元年度 133名 令和2年度 133名</p>																																																																																																																										
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">保育所名</th> <th colspan="14">延長保育実施状況</th> </tr> <tr> <th colspan="6">公立</th> <th colspan="6">民間</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>実施 か所数</th> <th>短時間 認定</th> <th>標準時間 認定</th> <th>年間 実利用 児童数</th> <th>短時間 認定</th> <th>標準時間 認定</th> <th>実施 か所数</th> <th>短時間 認定</th> <th>標準時間 認定</th> <th>年間 実利用 児童数</th> <th>短時間 認定</th> <th>標準時間 認定</th> <th>実施 か所数</th> <th>年間 実利用 児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧第1保育所</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>11</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>慈光保育園</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>33</td> <td>10</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>西大和黎明保育園</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>55</td> <td>11</td> <td>44</td> <td>1</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>やまびこ保育園</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>78</td> <td>11</td> <td>67</td> <td>1</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>166</td> <td>32</td> <td>134</td> <td>4</td> <td>182</td> </tr> </tbody> </table>					保育所名	延長保育実施状況														公立						民間						合計		実施 か所数	短時間 認定	標準時間 認定	年間 実利用 児童数	短時間 認定	標準時間 認定	実施 か所数	短時間 認定	標準時間 認定	年間 実利用 児童数	短時間 認定	標準時間 認定	実施 か所数	年間 実利用 児童数	上牧第1保育所	1	1	1	16	11	5							1	16	慈光保育園							1	1	1	33	10	23	1	33	西大和黎明保育園							1	1	1	55	11	44	1	55	やまびこ保育園							1	1	1	78	11	67	1	78	合計	1	1	1	16	11	5	3	3	3	166	32	134	4	182
保育所名	延長保育実施状況																																																																																																																									
	公立						民間						合計																																																																																																													
	実施 か所数	短時間 認定	標準時間 認定	年間 実利用 児童数	短時間 認定	標準時間 認定	実施 か所数	短時間 認定	標準時間 認定	年間 実利用 児童数	短時間 認定	標準時間 認定	実施 か所数	年間 実利用 児童数																																																																																																												
上牧第1保育所	1	1	1	16	11	5							1	16																																																																																																												
慈光保育園							1	1	1	33	10	23	1	33																																																																																																												
西大和黎明保育園							1	1	1	55	11	44	1	55																																																																																																												
やまびこ保育園							1	1	1	78	11	67	1	78																																																																																																												
合計	1	1	1	16	11	5	3	3	3	166	32	134	4	182																																																																																																												
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																																																																						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>女性の社会進出による共働き世帯の増加及び勤務形態の多様化に伴い、ニーズは今後も増加すると考えます。</p>																																																																																																																									
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																																																																																																																						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>今後、長時間保育のニーズが見込まれますので、事業費も増加すると考えられます。</p>																																																																																																																									

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td></td> </tr> </table>		取組状況		見直し	
	取組状況					
見直し						
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）				
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 保護者がお迎えに来られる時間等から保護者の就労状況等の把握に努め、ニーズに沿った効果的な事業を検討したいと考えますが、全国的に保育士不足が深刻であり、すぐに実施できる状況にありません。				
2021年度（R03） 実施予定	現状のまま継続します。延長保育については、児童数の減少等の影響により実利用人数は減少すると見込まれますが、延べ利用時間、延べ利用人数は増加すると考えます。保護者ニーズの把握に努め、対応を図っていきます。 放課後児童健全育成事業については、新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら引き続き実施します。また、第2子に係る保育料を現状の半額免除から、第3子以降と同様の全額免除とすることにより、より一層子育てと就労の両立の支援を図ります。					
	指標（予定）	KPI	延長保育年間実利用者数	220人		
		KPI	放課後児童クラブ月間受入人数（年平均値）	140人		
		—				
—						

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	こども未来課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	57ページ
担当係	児童福祉係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	④ 誰もが働きやすい環境をつくる		
	基本的方向	① 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援		
	施策	② 子育てしながら安心して働ける環境の整備		
	取組内容	42	② 病児病後児保育機能の強化と保護者負担の軽減	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	<p>病気になるいは回復期にあり、通常保育が困難で児童を家庭で保育できない時に、医師が病児保育での対応が可能だと判断した場合、看護師、保育士と連携してお預かりする保育事業を実施するものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和高田市で実施「ぞうさんのおうち」（総事業費の1/3を大和高田市及び協定を結んでいる市町村で按分） ・協定9市町（上牧町、大和高田市、香芝市、葛城市、広陵町、王寺町、田原本町、御所市、河合町） ・広域5町で連携し、病児保育室を三郷町内に建設、共同実施「いちごルーム」 ・連携協約5町（上牧町、平群町、三郷町、王寺町、斑鳩町） 			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費					
病児・病後児保育事業	3,520	2,842	2,434		
合計	3,520	2,842	2,434	3年間累計	8,796

2020年度（R02） 実施結果	実施状況	①計画通りに実施した
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度（H27） 【基準値】	2018年度（H30） 【基準値】	2019年度（R01）	2020年度（R02）	2021年度（R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
病児病後児保育施設登録者数（目標年度終了時点）	人	13	36	52	100 77	120

42. 病児病後児保育機能の強化と保護者負担の軽減

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																									
	独自の指標①				実績（値）																																								
	独自の指標②				実績（値）																																								
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>◎「ぞうさんのおうち」土庫こども診療所病児保育園（9市町村で協定） 平成27年6月から開始。月曜日から金曜日まで（土、日曜、祝日、12月30日～1月3日はお休み）利用時間は午前8時から午後6時までです。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で6月～9月は閉所したため、受入れ人数は6名となりました。 病児保育延べ人数 平成29年度15名（実利用人数6名） 平成30年度87名（実利用人数10名） 令和元年度63名（実利用人数11名） 令和2年度12名（実利用人数7名）</p> <p>◎「いちごルーム」西和地域病児保育室（5町で連携協約） 令和2年1月から開始。5町で連携協約を結び、病児保育室を共同実施しました。月曜日から金曜日まで（土、日曜、祝日、12月29日～1月3日はお休み）利用時間は午前8時から午後6時までです。1日定員6名。令和2年度 登録者25名 利用者4名 2カ所での病児保育室の実施で利用者の選択肢が広がり、ニーズに沿った行政サービスが行えていると判断しました。概ね目標の成果が得られたと考えます。</p> <p>また、病児保育室に関するアンケートを作成し上牧町役場、2000年会館、図書館に設置して回答をいただきました。アンケート結果によると、病児保育室の認知度は回答者の2/3程度となっており、また、今後利用したいと考える割合は「いちごルーム」で約37.5%、「ぞうさんのおうち」で約15.4%となっており、保護者の両親等子どもの看護が出来る大人が近隣にいる世帯が多いことが理由となっていると考えられます。地域の特性上、現時点での需要は高くはありませんが、今後需要の増加が見込まれますので、さらなる周知が必要であると考えます。</p> <p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>「ぞうさんのおうち」</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧町登録者数（人）</td> <td>16</td> <td>24</td> <td>36</td> <td>48</td> <td>52</td> <td rowspan="2">※「ぞうさんのおうち」 平成27年6月開始</td> </tr> <tr> <td>上牧町延べ利用者数（人）</td> <td>51</td> <td>15</td> <td>87</td> <td>63</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>「いちごルーム」</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧町登録者数（人）</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>4</td> <td>25</td> <td rowspan="2">※「いちごルーム」 令和2年1月開始</td> </tr> <tr> <td>上牧町延べ利用者数（人）</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>						「ぞうさんのおうち」	H28	H29	H30	R01	R02		上牧町登録者数（人）	16	24	36	48	52	※「ぞうさんのおうち」 平成27年6月開始	上牧町延べ利用者数（人）	51	15	87	63	12	「いちごルーム」	H28	H29	H30	R01	R02		上牧町登録者数（人）	/	/	/	4	25	※「いちごルーム」 令和2年1月開始	上牧町延べ利用者数（人）	/	/	/	1
「ぞうさんのおうち」	H28	H29	H30	R01	R02																																								
上牧町登録者数（人）	16	24	36	48	52	※「ぞうさんのおうち」 平成27年6月開始																																							
上牧町延べ利用者数（人）	51	15	87	63	12																																								
「いちごルーム」	H28	H29	H30	R01	R02																																								
上牧町登録者数（人）	/	/	/	4	25	※「いちごルーム」 令和2年1月開始																																							
上牧町延べ利用者数（人）	/	/	/	1	4																																								
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																									
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>就労形態の多様化、核家族化、女性の社会進出による共働き世帯の増加により、利用ニーズは今後拡大するものと判断しています。「ぞうさんのおうち」と「いちごルーム」2カ所の設置で、保護者の利便性により選択が可能となり、利用者が増加する考えます。</p>																																												
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																									
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「いちごルーム」は令和2年1月に開始したところで、まだ周知が十分ではなく、また、毎年登録をし直さないといけないことが利用者には負担になっていると考えます。</p>																																												

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">取組状況</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">見通し</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> </table>		取組状況		見通し						
	取組状況										
見通し											
今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）									
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「いちごルーム」の案内チラシを作製し、保育所や学童保育所に保護者への配布をお願いしました。令和3年度以降も、継続して周知を続けます。 また、毎年、毎年の再登録については上牧町から意見を出したところ、5町で協議し更新不要となる予定です。5町統一して要綱の一部改正も行い、利用者の負担軽減につなげます。									
2021年度（R03） 実施予定	引き続き「ぞうさんのおうち」と「いちごルーム」の2カ所で病児病後児保育を実施します。必要とする方に知っていただけるよう、再度保育所や学童保育所にチラシを配布し、登録者数の増加に努めます。										
	指標（予定）	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>病児病後児保育施設登録者数（目標年度終了時点）</th> <th>120人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	KPI	病児病後児保育施設登録者数（目標年度終了時点）	120人	—			—		
	KPI	病児病後児保育施設登録者数（目標年度終了時点）	120人								
—											
—											

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略【改訂版】 事業評価シート

担当課	企画財政課	事業年度	令和2年度	総合戦略掲載ページ	57ページ
担当係	総合企画係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	④ 誰もが働きやすい環境をつくる		
	基本的方向	① 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援		
	施策	② 子育てしながら安心して働ける環境の整備		
	取組内容	43	③ 子育てママ就業支援事業	
実施の予定・計画	2019年度（R01）終了時点	②実施済み（継続）		
	2020年度（R02）実施予定	①実施する（継続）		
	説明 （⑤その他の場合）			
実施内容	平成29年度から、「上牧町子育てママ就業支援事業」として、育児の都合に合わせた柔軟な働き方を実現できるようにするため、ラスパ西大和1F（上牧町ささゆりルーム）において、託児スペースとワーキングスペースを併設した就業支援スペース（事業拠点）を設置し、民間事業者との連携により運営を行っています。			
独自の指標	指標①		目標（値）	
	指標②		目標（値）	

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度		2019年度（R01） （決算）	2020年度（R02） （決算）	2021年度（R03） （予算）	備考	
事業費	子育てママ就業支援事業	2,000	0	0		
合計		2,000	0	0	3年間累計	2,000
2020年度（R02） 実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった				
	説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）	新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年4月14日から5月31日まで臨時休業しました。				

※「2020年度（R02）（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	単位	2015年度 （H27） 【基準値】	2018年度 （H30） 【基準値】	2019年度 （R01）	2020年度 （R02）	2021年度 （R03） 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値	
子育てママ就業支援施設での年間雇用者数（延べ人数）	人	—	18	20	35 26	50
子育てママ就業支援施設稼働率	%	—	46.5	48.9	50 53.9	60

43. 子育てママ就業支援事業

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった										
	独自の指標①		実績（値）											
	独自の指標②		実績（値）											
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>子育てママ就業支援事業については、臨時休業を除き予定通り継続できていますが、令和2年度の事業拠点における年間延べ雇用者数は26人（対前年比+6人）となっており、目標人数の50人には届きませんでしたが、新型コロナウイルス関連の受注等もあり、昨年度より雇用が増えました。</p>													
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>														
<p>子育てママ就業支援施設延べ雇用者数（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>雇用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>					年度	雇用者数	H29	15	H30	18	R1	15	R2	26
年度	雇用者数													
H29	15													
H30	18													
R1	15													
R2	26													
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある										
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ライフスタイルが多様化しているなかで、共働きしやすいまちづくり等、自己実現できる環境を求めるニーズはさらに増すと考えます。</p>													
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない										
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>子育てママ就業支援事業については、将来的な展望を見すえ、成果を高めるための見直しも必要であると考えますが、先駆的な取組であり、調査・研究にある程度時間を要すると考えます。</p>													

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2020年度（R02） 終了時点の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施 → <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> </tr> </table>			取組状況		見通し	
取組状況								
見通し								
今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）						
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルス感染拡大による受注等への影響で、すぐに実現することは難しいかもしれませんが、連携事業者の状況等を確認しながら、連携事業者が他自治体と連携して行っている事業の横展開の実現可能性について検討するためヒアリングを行います。						
2021年度（R03） 実施予定		事業拠点（上牧町ささゆりルーム1F）において、引き続き民間事業者との連携により託児スペースとワーキングスペースを併設した就業支援スペースにおけるテレワーク事業の運営を行っていきます。 令和3年度については、新型コロナウイルスの感染状況等を勘案しながら、事業の継続展開に向け、令和元年度に設置した上牧町子育てママ就業支援事業推進会議において地域関係者等と連携・情報共有を図る予定です。						
指標（予定）	KPI	子育てママ就業支援施設での年間雇用者数（延べ人数）	50人					
	KPI	子育てママ就業支援施設稼働率	60%					
	—							

